

令和5年度
事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

加速する少子高齢化や世帯人員の減少、単身化の進行、孤立死や認知症の人の増加などを背景に、地域における福祉課題は複雑多様化、深刻化しており、既存のサービスだけでは対応できない「制度の狭間」で支援を必要としている人たちが増えています。

このような課題に対し、必要な支援を包括的に確保し、地域共生社会の実現を目指す総合的な支援策の展開が求められています。

本会では、令和3年度から開始となった第6期地域福祉活動計画において「つながりで“元気” “安心” なまちの実現」を目標に掲げ、高齢者や子ども、障がい者をはじめ、すべての人の人権と尊厳が守られ、互いに理解し共に支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる福祉のまちの実現に向けて、地域福祉の実践を積極的に行ないました。

個別支援型のCSW（地域共生推進員）を3人から7人に増員し、全区において、制度の狭間の課題を抱えたケースや、地域で孤立し支援が届いていないケースを把握している民生委員からの相談を受け、相談機関や地域資源等と連携しながら、伴走型の支援を行ないました。

また、成年後見制度の新たな担い手として期待される市民後見人を新たに養成するとともに、市民参加型後見人（本会后見業務の履行補助者）の技能習得や活動意欲の醸成を図るために研修等を実施し、今年度も新たに4人が市民後見人として個人選任されました。

さらに、令和5年度は、7月に九州北部豪雨、1月に能登半島地震が発生し、被災地へ職員を派遣し、被災者や被災地の復旧・復興を支援しました。いつ発生するか予測が難しい災害に備え、福岡市と協働し、災害支援団体等との連携体制づくり、災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」）設置候補地の確保、災害VC設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成などにも積極的に取り組みました。

そのほか、「自分らしく生活をしたい」という個人の尊厳を守るために、本人の意思決定を支援するとともに、権利擁護支援体制を強化し、実践を積み重ね、活動を発信していく中で、11月には総理大臣官邸で開催された「第3回認知症と向き合う『幸齢社会』実現会議」へ本会職員が出席することとなり、本会の実践を全国へ発信することができました。

令和5年度の主な実施事業は、以下のとおりです。

【重点項目】	頁
1. 住民主体の小地域福祉活動の推進	3
(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化	
(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化	
(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進	
(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進	
(5) 多様な主体との連携・協働の推進	
2. ボランティアによる社会参加の拡大	7
(1) ボランティアの参加や裾野の拡充	
(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発	
(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上	
(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え	
3. 社会課題解決モデルの開発と拡充	11
(1) 地域の子どもプロジェクト	
(2) 買い物支援	
(3) 「終活」支援	
(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働	
(5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業	
(6) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験	
(7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり	
4. 権利擁護事業の拡充	18
(1) 持続可能な日常生活自立支援事業の実施	
(2) 権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進	
(3) 法人後見事業の推進と市民後見の充実	
(4) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討	
5. 居住支援の推進と空家・空室の活用	20
(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営	
(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施	
(3) 居住支援法人事業の実施	
(4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な役割の実践	
(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」	
6. 地域福祉を推進するための基盤づくり	22
(1) 個人情報保護の活用	
(2) 福祉教育の推進	
7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化	23
(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成	
(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、 相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援	
(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化	
(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置	

重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和6年3月31日現在のもの。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、見守りマップの作成支援等を通じ平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めました。また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

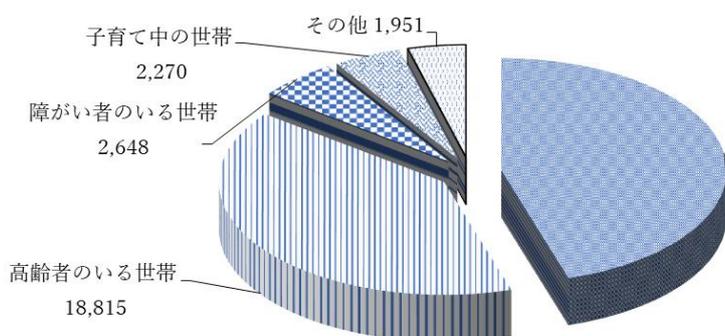
〔実施自治会（町内会）率〕 86.3% 〔助成額〕 18,916,133円

〔活動状況〕

()は前年比の数値

区	校区数	助成 校区数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア数 (人)
東	30	27	378 (2)	9,730 (△182)	2,556 (△447)
博多	22	20	298 (1)	5,008 (△850)	1,547 (△93)
中央	14	11	304 (3)	7,294 (127)	859 (△78)
南	25	25	306 (2)	7,297 (△949)	2,182 (△31)
城南	11	11	146 (△1)	3,552 (△119)	1,138 (△79)
早良	25	21 (△1)	216 (△13)	5,678 (△1,270)	1,845 (△46)
西	25 (1)	22	166 (2)	8,306 (1,313)	1,381 (△136)
合計	152 (1)	137 (△1)	1,814 (△4)	46,865 (△1,930)	11,508 (△910)

〔活動対象世帯内訳〕



〔活動内容内訳〕

活動内容	世帯数
安否確認・声かけ・話し相手	46,865
ゴミ出し	641

ひとり暮らし高齢者
21,181

① ふれあいネットワーク研修会の実施

各校区の担当者・役員を対象に、つながり続ける取組みを支援するため、地域の実情に応じた研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	3	88	・避難行動要支援者名簿の活用 ・見守りマップの作成、更新 ・まちづくりプランの振り返り、講話 など
校区・町内	169	5,891	

② 新規立ち上げ支援事業の実施

年度途中に新規で見守りを開始する自治会・町内会に対し、活動費の助成を行ないました。

〔助成状況〕 早良区：1町内会 5,000円

(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等のひきこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援しました。特に、地域の実情に応じたふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行ないました。また、感染防止の観点でサロンを中止した場合に、サロン利用者の支援に取り組む「はなれてもつながる」活動に、ふれあいサロン助成金を活用することができる特例措置を令和4年度に引き続き行ない、コロナ禍でも柔軟にサロン活動を実施できるよう支援しました。

〔助成額〕 19,849,538円

〔活動状況〕

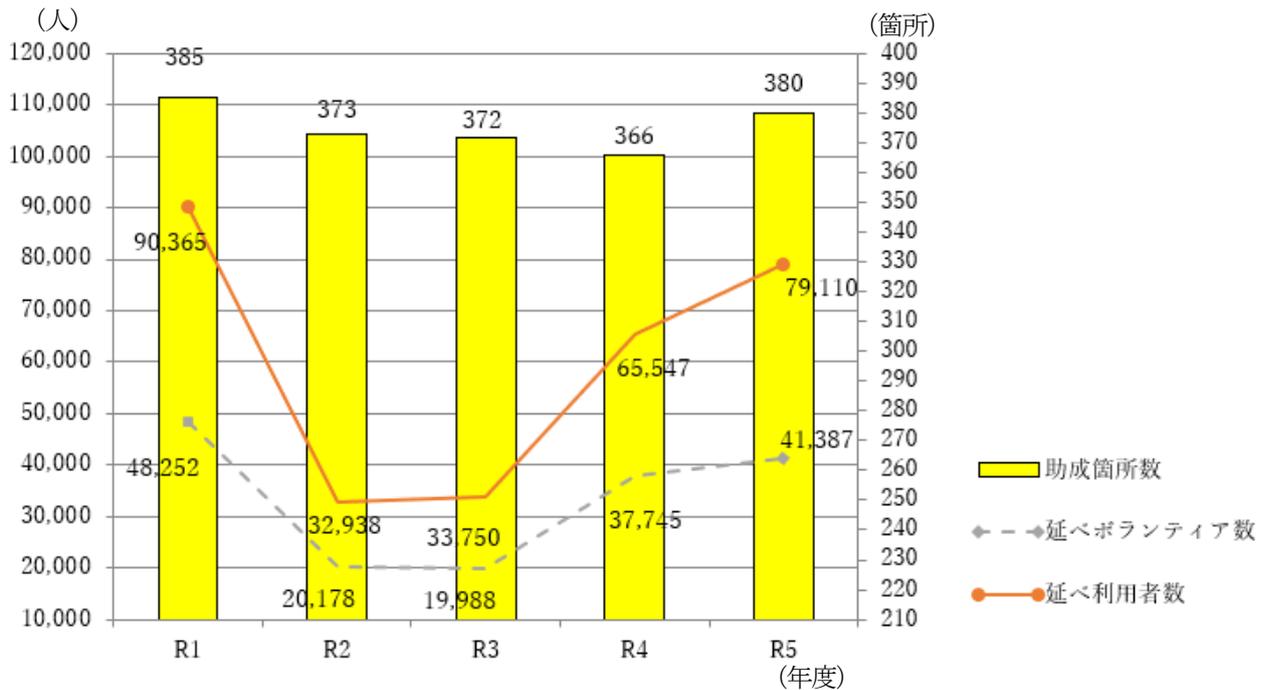
()は前年比の数値

区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延べ実施回数 (回)	延べ利用者数 (人)	延べボランティア数 (人)
東	30	25 (△1)	76 (1)	1,229 (130)	15,486 (3,048)	8,429 (805)
博多	22	19 (1)	57 (5)	1,090 (136)	13,388 (2,092)	5,495 (687)
中央	14	12	25 (△2)	346 (△7)	4,164 (361)	2,394 (8)
南	25	23	40 (△3)	703 (33)	8,371 (672)	4,861 (308)
城南	11	10	44 (5)	666 (127)	7,481 (1,737)	4,023 (931)
早良	25	22 (△1)	55	1,152 (6)	13,441 (1,238)	8,280 (△99)
西	25 (1)	22 (1)	83 (8)	1,434 (255)	16,779 (4,415)	7,905 (1,002)
合計	152 (1)	133	380 (14)	6,620 (680)	79,110 (13,563)	41,387 (3,642)

(参考) 1回あたりの平均利用者数：11.9人 (+0.9人)

1回あたりの平均ボランティア数：6.3人 (-0.1人)

〔助成箇所数、延べボランティア数、延べ利用者数の推移〕



① ふれあいサロン研修会の実施

区単位、校区や町内単位での研修会を実施することにより、地域の実情に応じたサロン活動ができるように研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	12	404	・レクリエーション講習 ・各サロンの活動共有 ・講話 など
校区・町内	17	285	

② 出前講座協力機関情報の提供

ふれあいサロン等へ、講話やレクリエーションなどの出前講座ができる企業・団体等の冊子を作成・配布し、プログラム策定の支援を行ないました。

③ 介護予防機能強化に向けたプログラム指導者等の派遣

ふれあいサロン等における介護予防機能強化を目的として、区社協で養成したボランティアをグループ化し、地域からの依頼に応じて指導者として派遣しました。

区	グループ名	派遣先	派遣回数 (回)
東	お元気届け隊	ふれあいサロン、地域カフェ等	34
南	南区ほがらかたい	ふれあいサロン等	8
城南	楽しか隊	ふれあいサロン等	8
西	わくわくキッズ	ふれあいサロン	10

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め今後の活動目標等に見える化し、実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催するとともに、その内容をより多くの住民で共有するため、新たに2校区で「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援

し、これまでに市内62校区のプラン策定を支援しました。また、過去に策定済の1校区内でプラン内容更新の支援を行ないました。

〔新規策定校区〕

区	校区	プラン名
城南	鳥飼	鳥飼校区福祉のまちづくりプラン
早良	田村	田村校区福祉のまちづくりプラン

〔更新校区〕

区	校区	プラン名
西	西陵	福祉のまちづくりプラン ～元気な高齢者を増やそう！～

(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

① ご近所お助け隊支援事業

i) 生活支援ボランティアグループの立上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行なう「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを支援しました。

〔活動団体数〕 55団体

ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」として、新規立上げ時の初期費用及び運営体制強化の費用を助成し、生活支援ボランティアグループの活動を支援・促進しました。

〔助成団体数・額〕 6団体・301,000円

区	団体数	立上げ助成数	運営強化助成数
東	3	1	3
博多	1	0	1
中央	0	0	0
南	2	0	2
城南	0	0	0
早良	0	0	0
西	0	0	0
合計	6	1	6

※重複あり

iii) 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶ実践発表や、お互いの活動状況や課題等に関する意見交換を行ないました。

実施日	内容	参加団体数	参加者（人）
9月25日	・ボランティア団体の実践発表 ・意見交換会 ・情報提供	22	37

(5) 多様な主体との連携・協働の推進

多様な主体のそれぞれの強み・人材・資源を持ち寄った地域福祉活動の展開へとつなげるため、公民館や福祉施設・事業所、企業、大学、NPO等と地域とのコーディネートに取り組みました。

〔地域と社会資源の協働による取り組み〕

- ・福祉施設・事業所、企業、大学等によるふれあいサロンや地域カフェでのプログラム支援
(例：健康講座、スマホの使い方相談会、終活・相続相談、メイク・マッサージ、大学生のコーラスサークルによる発表など)
- ・大学の協力で認知症高齢者への接し方を学んだガス検針員の見守り活動への参加
- ・少年自然の家・青少年海の家・アソシエキッズわひがのWAによる子ども食堂での出張自然教室の開催【東】
- ・福祉施設による多目的室の開放と体操の実施【中央】
- ・飲食店数店と地域団体、行政機関の有志でグループを結成し、飲食店が作るお弁当を子どもに週1回配付【中央】
- ・自治協議会や事業所ネットワーク、医療機関等と連携し、住民向けの福祉体験学習やインクルーシブ防災訓練を実施【中央・西】
- ・住民が気軽に想いを発信できるようにするため、銀行、スーパー、診療所に意見箱「おざさポスト」を設置【中央】

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① シニア世代の活動支援事業（区シニア地域サポーター養成講座）

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動につなぎました。

	内容	受講者 (人)	活動開始者 (人)
本部	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティア入門講座	27	9
	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティアフォローアップ講座	17	17
東	シニアボランティア入門講座	11	2
博多	子どもの居場所ボランティア講座	11	6
中央	クローズアップ子ども食堂	23	11
南	シニア地域サポーター養成講座	9	2
城南	はじめてのシニアボランティア講座	7	4
早良	傾聴ボランティア養成講座	17	3
	子育て支援ボランティア養成講座	16	2
西	傾聴ボランティア養成講座	12	6
合計		150	62

② 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者（65歳以上）の社会参加、生きがいづくりや介護予防を促進するため、ボランティア登録者を介護保険施設等での活動につなぐコーディネーターや、活動に必要な知識・スキルを習得するための講座等を実施しました。

i) ボランティア登録者、登録施設、活動の状況

(令和5年12月末現在)

個人登録者（人）	2,175
登録施設	541
令和5年中の活動者（人）	423

換金申請者	人数 (人)	金額 (円)
奨励金交換者	161	501,000
寄付者	83	147,800
合計	244	648,800

※活動で付与されるポイントは「奨励金として換金」もしくは「市社協への寄付」を本人が選択・申請。

(1日1時間以上の活動=200ポイント=200円に換金。換金の上限は5,000円)

〔活動内容〕

(令和5年1月～令和5年12月累計)

活動種別	延べ活動者 (人)	活動種別	延べ活動者 (人)
レクリエーション・囲碁将棋	2,476	食事介助の補助	1,359
芸能	673	行事の手伝い	40
話し相手	1,969	入浴介助の補助	50
清掃・衣類整理	769	散歩・屋内移動・送迎の補助	155
美容	110	その他	512
合計		8,113	

ii) 説明会、研修、講座の実施

実施日	内容	参加者 (人)
8月17日、3月5日	登録説明会	51
4月26日、6月28日、7月26日、 8月17日、9月15日、10月11日、 11月11日、1月25日、2月22日、 3月26日	新規登録者研修	91
6月28日、9月15日、3月7日	ボランティア活動講座	86
10月11日、10月12日、2月22日	スキルアップ講座	74
合計		302

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

① 企業ボランティア活動支援事業【南】

企業の社会貢献や従業員のボランティア活動に関する相談に応じ、活動先の施設等のニーズを調査し、活動先を紹介する事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し実施しました。

〔実施団体〕福岡県建設労働組合 〔件数〕3件

② 校区フードドライブ事業【中央】

校区社協の協力により、3ヶ月に1度、家庭で余っている食品を公民館で集めていただき、集まった食品を区社協に寄贈していただくことにより、生活困窮者への相談対応時や子ども食堂で活用しました。

〔寄贈受入〕427品

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

① 認知症介護家族やすらぎ支援事業（福岡市委託事業）

認知症の方を在宅で介護している家庭に訪問し、本人の見守り・話し相手や家族の相談に応じるボランティア（やすらぎ支援員）の派遣及び養成やスキルアップに取り組みました。

〔活動状況〕

実利用世帯数	派遣回数（回）	実活動支援員数（人）
8	140	9

〔やすらぎ支援員の養成やスキルアップに係る研修〕 ※やすらぎ支援員の新規登録者数：27人

実施日	内容	参加者（人）
6月23日	第1回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	20
12月16日	第2回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	15
12月22日	やすらぎ支援員養成研修（認知症のある人と家族を支えるボランティア養成講座）	14
3月5日	やすらぎ支援員養成研修（認知症のある人と家族を支えるボランティア養成講座）	10
3月22日	第3回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	16
合計		75

② 笑顔の10分コール【東】

新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控え、人と話す機会が減っていることを受け、「誰かに話を聴いてもらいたい」という声に応えるために、傾聴ボランティア笑みの会と東区社協が協働で、専用ダイヤルでボランティアが傾聴する事業を実施しました。

実施日時	件数
毎週金曜日 13:30～15:30	31

③ ひきこもりの人や障がい者も参加できる居場所づくり【東】

ひきこもりの人や身体、知的、発達、精神等の障がいがある人の社会参加を支援することを目的に、幅広い世代の親子が参加できる料理教室の開催を支援しました。

④ WINプロジェクト（福祉事業所をまとめた冊子を作る会）の支援【東】

障がいのある子どもとその世帯が、学校卒業後の進路を自ら選定できるよう、障がい者福祉事業所の情報を集めた冊子を作成するWINプロジェクトを支援しました。

（4）災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害VC設置候補地の確保、災害VC設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成などに取り組みました。

① 災害VC運営の基盤づくり（行政や多様な主体との連携）

i) 「福岡市災害VC設置に関する協定」締結

締結日	相手方	内容
3月25日	福岡市、学校法人福岡工業大学	災害VC開設時の敷地の無償提供

ii) 災害VC設置・運営訓練（主催：福岡市社協、大学 共催：福岡市）

実施日	会場	内容	対象	参加者（人）
12月1日	第一薬科大学（学校法人都築学園）	災害VCの役割・業務内容の理解、現場での業務確認（訓練）	市・区役所職員、大学職員、災害支援団体、社協職員	36

iii) 災害ボランティア団体等意見交換会（福岡市との共催）

実施日	内容	参加者（人）
3月5日	行政・社協・団体等の三者連携の促進を目的に、災害支援団体、市、市社協、企業、大学等で情報共有・意見交換。	23

iv) 災害支援ボランティア団体等の登録制度の運用

〔登録団体数〕 11団体

② 令和5年7月豪雨でのボランティア活動支援

i) 福岡市ボランティアバスの運行（7月31日のみ福岡市との共同運行）

実施日	活動場所	参加者（人）
7月31日	久留米市災害VC サテライト	15
8月24日	（福岡県久留米市草野町吉木33 ふれあい農業公園）	17
合計		32

ii) 災害VCの運営支援

福岡県社会福祉協議会からの要請に基づき、令和5年7月豪雨の被災地である久留米市の災害VCへ職員を派遣しました。

期間	内容	延べ派遣人員(人)
7月15日～9月23日	「災害VC」運営支援、ボランティアの活動調整、活動前のオリエンテーション、ボランティアからの問い合わせ対応等	115

③ 令和6年能登半島地震における業務支援

九州社会福祉協議会連合会からの要請に基づき、令和6年能登半島地震の被災地である石川県輪島市・珠洲市へ職員を派遣しました。

期間	内容	延べ派遣人員(人)
2月14日～2月19日 (輪島市)	現地社会福祉協議会の特例貸付業務の支援、災害VC業務補助等	16
2月26日～3月1日 (珠洲市)		

④ 災害ボランティアの裾野を広げる市民啓発や人材育成の取組み

i) 災害ボランティア講座（福岡市ボランティアセンター主催）

実施日	内容	参加者（人）
3月13日	「身近な久留米市の災害VCの取組みを振り返る」 ※会場・オンラインのハイブリット開催	31

ii) 福岡市主催「災害ボランティア講座」への講師協力

実施日	依頼者（会場）	内容	参加者（人）
2月20日	福岡市市民局市民公益活動推進課 (福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん)	災害VCについて	19

iii) 防災イベントへの参加

実施日	イベント名(会場)	内容
10月30日 ～11月3日	市防災フェア (福岡市役所1階)	災害ボランティアや災害VC について紹介するパネル展示

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域の子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域との関係が薄く孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、子どもの居場所づくりの活動支援・基盤強化や専門職等との連携強化に取り組みました。

① 「子ども食堂」等地域における子どもの居場所づくり支援の拡充

地域住民が主体となって実施する子どもやその親が安心して過ごせる居場所づくりや食事提供、多世代との交流をとおして、生活習慣等を子どもが身につけ自立して生きる力を育む取組み、学生ボランティア等と連携した学習支援の取組み等を支援しました。

〔区社協が支援した居場所づくり〕【附属明細書：P.1（別表1）参照】

② 子どもの居場所を多様な主体が支え応援する仕組みづくりの推進

地域や学校、企業、団体、行政等と連携し、食事・食材の提供をとおして子どもを支える地域づくりに取り組みました。

i) 子ども食堂等への食材提供の仕組みづくり

子ども食堂の多くが抱える食材調達の困難さへの支援策として、J A福岡市・J A福岡市東部やベジフルスタジアム活性化委員会への協力を得て、子ども食堂等への食材提供支援事業を実施しました。

また、食材提供支援事業では、食材受取りの申込みや連絡手段にICTを導入し、LINEのオープンチャット機能を活用することで、やり取りにかかる負担軽減と効率化を図り、子ども食堂等の団体とベジフルスタジアム活性化委員会との情報共有を促す仕組みを整備しました。

ii) 飲食店を会場とした子ども食堂等の開設支援【中央】

飲食店が多いという中央区の特性に着目し、飲食店等を会場にした子どもの居場所の開設支援を行なった結果、2か所で新たに活動がスタートしました。

校区	会場	名称	活動日
南当仁	FOR STARLIT	こむすびHouse	第3月曜日 11:00~15:00
赤坂	和食笠	和食笠 子ども食堂	毎週水曜日 17:00~20:00

iii) 企業等からの寄贈品のコーディネート

企業等から物品や食料等を提供したいとの相談を受け、市内の子ども食堂との連絡調整窓口となり、寄贈のコーディネートを行ないました。また、令和4年度から子ども食堂への寄付・寄贈物品の受渡し日を予め設定することで企業並びに子ども食堂双方が計画的に受渡し・受取りができる「企業×子ども ふくふくお届け便」を2か月に1回開催しました。

iv) 立花寺緑地リフレッシュ農園との協働による子ども食堂等への食材提供支援事業【博多】

立花寺緑地リフレッシュ農園と協働し、受取りを希望する子ども食堂等へ食材（野菜）の提供を12月から試行実施しました。4回実施し、3団体へ食材（野菜）を提供しました。

③ 関係機関・専門職との連携による子ども・子育て世帯のSOSの早期発見・早期対応

地域の実情に応じた運営を支援するため、団体同士の情報交換やスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）との連携強化を目的とした交流・情報交換会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行ないました。

また、関係機関と情報共有を行ないながら、個別ケースの支援にも取り組みました。

〔食と居場所づくり団体の交流・情報交換会〕

	実施日	参加団体数	参加者数(人)	主な内容
市域	1月31日	20	49	活動報告、情報交換
東	8月3日	29	46	講話、活動報告、各種団体紹介、情報交換

〔SSWとCSWとの合同研修〕

実施日	内容	参加者(人)
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとCSWの役割について ・笠松校区における子どもの居場所づくり～CSWとSSWのコラボレーション～ ・情報交換 	66

(2) 買い物支援（一部福岡市委託事業）

① 地域が主体の買い物支援の推進【附属明細書：P.4（別表2）参照】

i) 買い物等支援推進員の配置

市社協地域福祉課に買い物等支援推進員を2人配置し、各区社協の生活支援コーディネーター及びCSWと連携して、地域が主体の買い物支援の取組みを進めました。

ii) 送迎支援で活用できる汎用ツールの作成と地域への周知

地域役員やボランティア、協力企業等が実施する送迎支援において、万が一の事故トラブル等に備えるため、活動の趣旨や役割分担を整理した実施要綱等（実施要綱・協定書・同意書兼申込書）のひな形や「買い物支援先への送迎における保険一覧表」を作成し、既に実施している地域や今後実施を検討している地域へ周知を行ないました。

iii) 有識者会議の開催

買い物支援実践者や有識者などからなる有識者会議を開催し、現状の取組みに対するアドバイスを受け、取組みの改善やさらなる活動の多様化を図りました。

日時	主な協議内容
12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の備えと留意点について ・新規取組みの報告 ・ボランティア向けスマホ講座とLINE活用の進捗について ・Uber Eatsと連携した買い物支援共同事業について ・福岡市移動スーパー参入促進費補助金の申請状況について

iv) 地域が主体の買い物先への送迎事業の支援

香住丘校区（東区）が主体となって取り組んでいる買い物先への送迎事業に対し、持続的な取組みとなるよう車両の貸出やボランティアの確保等の支援を行ないました。

② ふれあいネットワークやふれあいサロンといった他の地域福祉活動との有機的な連携

地域の会議や企業等との協議の場等で、買い物支援の取組みにより、重層的な見守りや交流、外出の動機づけ、閉じこもり防止、介護予防といった複合的効果が生まれることを発信し、見守りや居場所づくりなどの他の地域福祉活動との連携について働きかけを行ないました。

③ ICTによる買い物支援の取組み

買い物支援におけるICTの導入を検討するにあたり、ICTの担い手育成を目的とした地域ボランティア向けのスマホ講座（計3日間）を2地域で実施しました。

地域	実施日	平均 参加人数(人)	講座内容
東区 青葉台 自治会	10月18日	15	(1日目)
	10月25日		①アプリについて
	11月1日		②LINEの基本的な操作方法
博多区 下月隈団地 自治会		8	(2日目)
			①1日目の振り返り
			②LINE通話やビデオ通話、グループトークの 仕方について
			③スマートフォンの安全安心な使い方について
			(3日目)
			①オープンチャットについて
	②質疑応答		
			③1～3日目の振り返り

また、講座を経て地域では、LINEのオープンチャット機能を活用した情報発信の動きもあり、運営方法等についての支援を行ないました。

④ 協力企業・事業所の開拓

福岡市における買い物困難の課題の共有と買い物支援協力企業の開拓を目的に、34の企業・団体等の相談対応・訪問を行ない、「買い物支援の福岡100PARTNERS」の登録企業・団体の増加につなげました。(令和6年3月末現在32社 令和5年度新規登録1社・登録辞退2社)

また、企業等の買い物支援に対する理解の促進、企業等同士がつながる機会づくり、買い物支援に協力する企業等の拡大などを目的としたセミナーを実施しました。

〔企業向け買い物支援セミナー〕

実施日	内容	参加者(人)
3月4日	・報告「福岡市の買い物支援の取組み」 ・トークセッション「食を届ける宅配・買い物代行の現状」 ・グループワーク「宅配・買い物代行をより多くの人に利用してもらうためには」	19

(3) 「終活」支援

① 人生の終末期に向けた準備や自己実現の支援（一部福岡市委託事業）

終活に関する幅広いニーズに応じた情報提供等を行なうため、終活全般の相談対応・情報提供窓口を常設したほか、専門性の高い相談については弁護士等による予約制相談窓口を定期開設しました。また、終活に関する啓発や幅広いニーズに応えるため、出前講座を実施するとともに、福岡市からの委託を受け、終活の第一歩を考えるためのセミナーを開催しました。

〔終活サポートセンター 相談実績〕 (件)

電話相談	810
来所相談 (うち、予約制相談)	262 (115)
訪問等	37
合計	1,109

〔終活応援セミナー〕（福岡市委託事業）

	実施日（期間）	内容	形式	延べ参加者（人）
第1回	7月3日～3月31日	エンディングノートで備える “終活のこと”	動画配信	1,606
第2回	11月17日	生前整理 ～モノの整理は心の整理～	対面	135
合計				1,741

〔終活出前講座〕【附属明細書：P.6（別表3）参照】

② 死後事務委任に関する事業

i) ずーっとあんしん安らか事業

死後事務を頼める親族がいない高齢者等が安心して生活できるよう、本人との死後事務委任契約に基づき、定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行なうとともに、契約者が死亡した場合には、事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行ないました。

〔対応件数〕 (件)

相談	426
新規契約	5
現契約	78
入退院支援	40
自宅・病院への臨時対応	109
解約 (うち、死後事務実施)	3 (1)

ii) やすらかパック事業

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な人等に対応できるよう、少額短期保険を活用した定額の利用料金の月払い制度により、死亡後の葬儀（直葬）、納骨（永代供養）、家財処分の費用等を保険金で対応し、死後事務を実施しました。

〔対応件数〕 (件)

相談	231
新規契約	1
現契約	46
解約 (うち、死後事務実施)	4 (3)

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

① 事業連携の拡充

社会福祉法人等との協働による、買い物困難者支援や移動困難者支援、認知症高齢者等検索サポート体制整備、生活困窮者等への食品提供、居室清掃活動等の地域課題を解決するための取り組みなど、地域で求められるサービス等について社会福祉法人等に提案し、地域との連携の仕組みづくりを支援しました。

i) 事業所ネットワークの支援

地域の課題解決に向け、福祉・介護・医療・障がい等の専門職や事業所によるネットワークの構築や運営を支援しました。また、CSWを中心に、地域の実情やニーズに応じて事業所ネットワークと地域とのコーディネートに取り組みました。

ア 障がいのある方との交流を深める「ふれあい広場」の開催【東】

障がい福祉サービス事業所を中心に、特別支援学校や高校、企業等との連携・協力により、実行委員会方式で各種イベント、出店をイオンモール香椎浜店にて行ない、交流の場を支援しました。

実施日	内容	参加者（人）
11月4日	<p><出店コーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉施設、事業所や作業所などで製作された商品の出店、販売 <p><ガラポンコーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> 協賛企業や参加団体からの提供品を中心としたガラポン抽選会を開催 フードロス削減啓発を目的とした野菜の無償配布（協力：ベジフルスタジアム） <p><イベントコーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> 協賛企業による福祉車両の展示 UD e - s p o r t s（ユニバーサルデザインのゲーム） 福岡100フェスティバル×ふくおか散歩ミッションQRコード掲示など <p><ステージコーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園、当事者団体、社介戦士サントイガー、ボランティアなど 	約1,500

イ 福祉事業所等によるフードドライブ【東】

東区社協において、東区役所の協力を得て、使用予定のない食材や生活用品を困窮世帯等に無償で提供する取組みを継続するとともに、食材や生活用品の提供については、ふくおかライフレスキュー参加事業所へも協力を呼びかけました。

ウ 福祉施設による地域貢献サポート事業【博多、南】

区	内容
博多 南	施設の提供メニュー冊子を窓口を設置し、区民への情報提供を行なった。

エ 事業所ネットワーク地域連携支援事業【早良】

区内の事業所ネットワークに対する、活動に必要な備品・消耗品購入費用の助成を予定していましたが、令和5年度は助成申請がありませんでした。

また、地域包括ケア推進のため、事業所ネットワーク・企業・大学等をふれあいネットワーク活動やサロン活動等の地域福祉活動に15件コーディネートしました。

オ 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣をコーディネートし、プログラムの充実に向けた支援を行ないました。

ii) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」として、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に参画しました。

〔支援状況〕

区	参加事業所数	地区連絡会回数 (回)	支援件数 (件)
東	7	4	5
博多	8	0	0
中央	7	1	4
南	4	1	1
城南	7	2	0
早良	12	6	2
西	14	1	1
合計	59	15	13

iii) 外国人介護人材と地域住民との交流支援

福岡市が実施する、外国人介護人材と地域住民との交流を通して相互理解を深め、外国人介護人材の定着を促進する「草の根交流プログラム」に協力し、CSWが実施施設と地域とのコーディネートを行ないました。

区	校区	日程	福祉施設	交流事業・内容	参加者 (人)
中央	簗子	12月2日	社会福祉法人桜花会 ライフケア大手門	ふれあいサロン簗子カフェ 凧作り	22
早良	飯倉	12月11日	社会福祉法人誠和会	子育てサロンいっくらっこ クリスマス会	61
城南	鳥飼	1月19日	社会福祉法人とりかい	ふれあいサロンとりかい 健康体操	25

② 組織連携の拡充

種別協議会等の業界団体や関係機関等と連携し、福祉・介護の仕事の魅力を発信するプロジェクトに参加しました。プロジェクトの取組みの一つとして、本会と福岡市老人福祉施設協議会の共催で、将来の介護の担い手となる子どもたちに福祉や介護について考えてもらうきっかけをつくることを目的に、介護に便利な「夢の福祉用具」のアイデアを描いた絵を募集する「カイゴ・ミライスケッチコンクール」を企画し、プロジェクトの市民啓発イベントにおいて、作品の展示や表彰式を実施しました。

(5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業（福岡市委託事業）

孤立の防止・解消を目指し、日常生活に欠かせず、かつ楽しみや自然の交流が期待できる、「食」を通じた多世代交流の居場所づくりを支援するため、社会福祉施設の食堂などのスペースを活用し、社会福祉法人と地域が連携した居場所づくりや、子ども食堂における多世代交流の場への拡充などを進めました。

① 社会福祉法人との連携

施設	区・校区	実施期間	対象者	内容
社会福祉法人 天真会 博多老人ホーム	東区 三苦	月1回 第2水曜日 (初回令和5年 10月)	施設周辺(三苦 1・2丁目)の 高齢者	施設で調理したもの(弁当)を提供し、交流会を実施

施設	区・校区	実施期間	対象者	内容
社会福祉法人 百友会 ケアハウス フレンドピーチ	東区 名島	3か月に1回 (初回令和6年 1月)	施設周辺(松崎 4丁目1区)地 域住民	新春餅つき大会として、餅つきや 餅を一緒に食べ交流をし、体操や 子ども向けのクイズ等のレクリ エーションを実施 ※内容は季節により変わる予定

② 賛同団体への支援

子ども食堂など、既に居場所づくりの取組みを実施している団体で、一定の要件を満たし、「食を通じた居場所づくり」の理念に賛同した団体を、賛同団体として位置づけ、のぼり旗やエプロンなどの啓発グッズを12団体に配付しました。

【賛同団体の要件】

- (1) 多世代が交流する居場所(参加者が高齢者、子どもなど多世代の参加がある居場所)となっている。
- (2) 食(食事)を通じた交流がある。
- (3) 定期的に行なわれている。(概ね3カ月に1回以上)



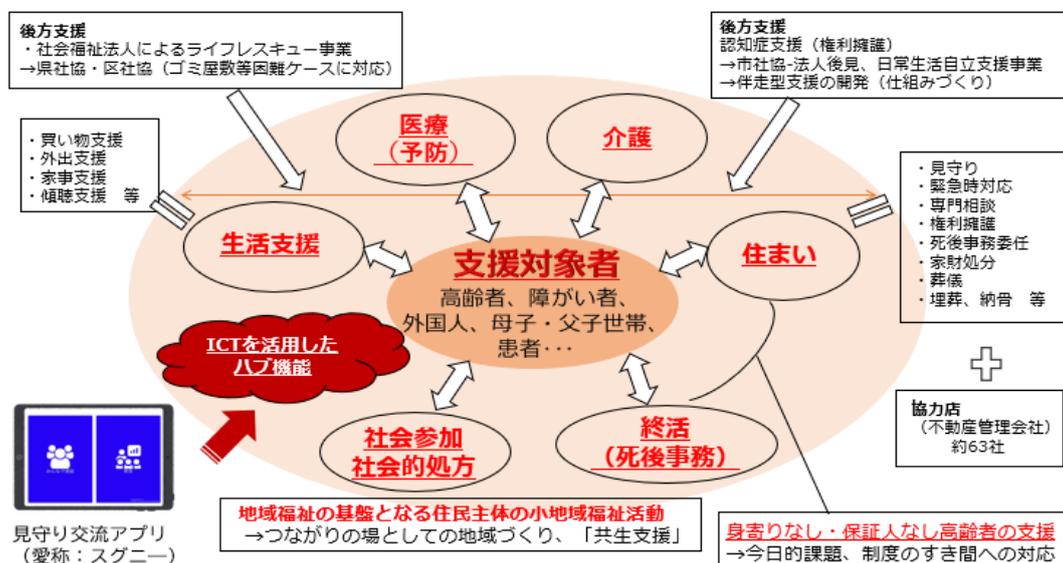
(6) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験

在宅要支援者と民生委員等の社会資源をICTでつなぎ、高齢者のフレイル防止及び見守り機能強化を図ることで、孤独・孤立のリスクを抱える人を支えるセーフティネットとなる、総合的なワンストップサービスの構築に向けたケアリングコミュニティ(※)の研究とICTを利活用した実証実験に取り組みました。具体策として、要支援者がサービスや活動につながりやすい、助けを求めやすい環境と、支援者側のスムーズな連携を図るツールとして「見守り・交流アプリ(愛称:スグニー)」を開発、アプリの試行機会を設定し、検証を行いました。

また、「法人後見事業」や「終活サポートセンター」等の本会の各事業や、傾聴ボランティア活動での試行機会を設定し、活用パターンを幅広く検証しました。

(※)ケアリングコミュニティ:社会的孤立や社会的排除に向き合い、多様性を重視し、共生社会を目指して相互に支え合うことができる地域

2020年度 ニッセイ財団 高齢社会地域福祉チャレンジ活動助成採択 「コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験」



(7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

地域共生社会の実現に向けて、制度の狭間の問題など、新たな課題の解決にチャレンジし、「あきらめない福祉」を目指す組織体制を維持・発展させるため、組織内部の環境整備や財源確保策の検討・実践等を行ないました。

① 多様な寄付の手法の開発と実践

毎月、定額をクレジットカード払いや口座引落としにより寄付する仕組み（マンスリーサポーター）により、自主財源の確保に向け、ホームページ等の環境整備等を行ないました。

② ファンドレイジングの基盤整備

継続的な寄付者を増やすためのアプローチ、寄付者との関係構築の強化、本会の取組みを可視化するため、情報を一元的に管理する「データベース」の活用やニュースレターの発行、活動報告会を行ないました。

③ 「SDGs実践プラットフォーム」の構築

今後の福祉政策の基本方針である「地域共生社会の実現」と、企業の社会貢献意識の高まりを動機付けている「SDGs（持続可能な開発目標）」が目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」とが軌を一にしていることを捉え、企業等との連携による社会課題解決モデルを考案し、協働を働きかけました。

4. 権利擁護事業の拡充

(1) 持続可能な日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを支援しました。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任による対応のほか、専門職による成年後見等につながりました。

[対応件数] (件)

新規相談受付	230
新規契約	73
累計契約（平成12年1月～）	1,974

※事業開始からの累計解約件数1,563件（死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による）

[現契約件数] 325件 (件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
97	69	158	1

(2) 権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進（福岡市委託事業）

福岡市が設置した「福岡市成年後見推進センター」の運営を受託し、成年後見制度の普及・啓発及び相談対応、後见人等候補者の受任調整など、成年後見制度の利用促進に向けて取り組みました。また、相談支援機関等からの相談に対し専門職を現地に派遣する取組みや権利擁護支援に携わる関係機関との連携を強化する取組みを行ないました。

① 相談対応

[延べ相談件数] 996件

うち、成年後見相談会（専門職による個別相談会） 34件／14回

② 後見人等候補者の受任調整

会議名	実施回数(回)	審議事案件数(件)	後見人等候補者の受任者調整件数(件)
ケース検討会議(※1)	12	9	3
受任者調整会議(※2)	12	92	95

(※1) ケース検討会議…成年後見推進センターで相談を受けた案件のうち、成年後見制度の利用の要否や支援方針について専門職を交えて検討する会議。事案に応じて、後見人等候補者(職種)の調整も行なう。

(※2) 受任者調整会議…福岡市における市長申立案件及び成年後見推進センターで相談を受けた案件について、後見人等候補者(職種)の調整を行なう会議。

③ 成年後見等アドバイザー派遣

[延べ派遣回数] 4回 [派遣専門職] 弁護士、司法書士

④ 出前講座・講演依頼等

【附属明細書：P. 8 (別表 4)、P. 21 (別表 13)、P. 24 (別表 14) 参照】

⑤ 福岡市権利擁護支援ネットワーク協議会研修会

実施日	内容	参加者(人)
10月25日	・意思決定支援等に関する基調講演、 ・グループワーク ・スローガン「私は私らしく あなたはあなたらしく ～『自分で決める!』を支えます～」の発信	90 (15団体)

(3) 法人後見事業の推進と市民後見の充実

① 法人後見事業の推進

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者が、判断能力低下後も安心した生活が送れるよう、法人として成年後見人等を受任することにより、継続的な支援に取り組みました。

また法人後見受任ケースを市民後見人へ引き継ぐ場合、本会が後見等監督人を受任し、被後見人等が安心して生活できるよう支援しました。

[受任件数] (人)

	新規受任	累計受任	現受任(※)	終了
法人後見	9	128	46	82
後見等監督人	2	4	3	1

(※) 現受任内訳 (人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者
法人後見	39	4	3
後見等監督人	3	0	0

② 市民後見人養成事業の推進(福岡市委託事業)【附属明細書：P. 9 (別表 5) 参照】

「福岡市市民後見人養成研修」(動画視聴・レポート作成及び対面またはオンライン参加による演習等)を実施し、新たな市民後見人候補者を養成しました。

その受講者及び市民参加型後見人(本会后見業務の履行補助者)のうち、希望者を「福岡市市民後見人候補者名簿」に登録し、その中から新たに4人が市民後見人として個人選任されました。うち2件は本会が後見等監督人に選任されています。

また、市民参加型後見人に対して、活動先を調整し、後見業務の実務や書類作成業務等のOJT研修を行ったり、スキルアップを目的に上記の市民後見人養成研修への参加を促したりし、技能習得や活動意欲の醸成を図りました。

登録先	登録者（人）
市民参加型後見人バンク （うち、活動者）	40 (23)
福岡市市民後見人候補者名簿	24

(4) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

「成年後見制度」や「遺言」といった既存の制度ではカバーしきれない、障がいやひきこもりなど、生きづらさを抱えている人の「親なき後にどう備えるか」という問題に対応するため、生命保険信託と独自に開発する「身上保護」サービスや「友人的伴走支援」の仕組みを組み合わせ合わせた多様な主体との協働による新たな仕組みづくりの検討を進め、令和6年3月に「親なき後支援事業」を開始しました。

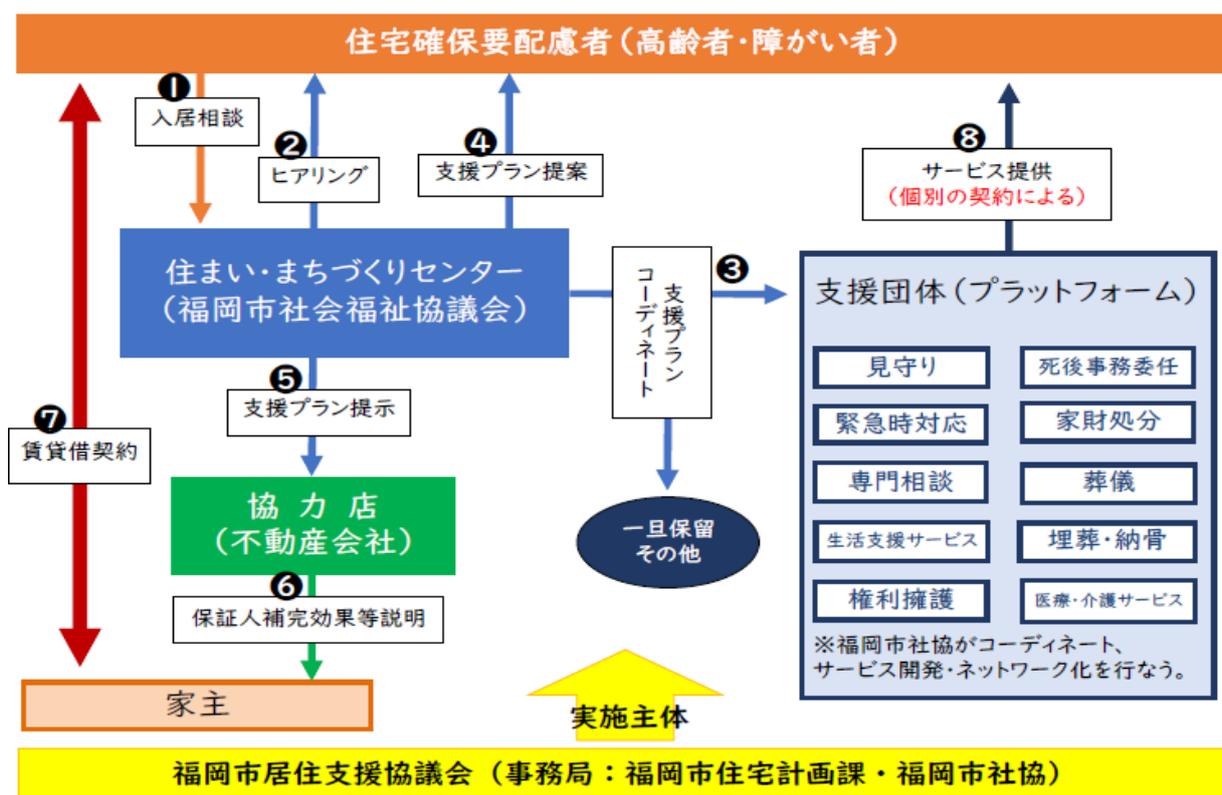
5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営

高齢者・障がい者・社会的養護出身者・子育て世帯・低所得者などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安心して地域で生活を続けられる社会を実現するため、“住まい”と“日常生活支援”を一体的に提供し、安心して継続居住できるよう支援を行ないました。

(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）

住替えに困っている高齢者や障がい者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援のコーディネートを行ないました。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」（事業運営の基盤となる仕組み）を運営しました。



[登録・相談実績等]

協力店登録社数 (社)	支援団体登録数 (団体)	相談受付数 (件)	賃貸借契約締結数 (件)
63	14	499	86

[内数：障がい者の実績] (件)

相談受付数	賃貸借契約締結数
145	23

(3) 居住支援法人事業の実施

住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者を除く）を対象に、「法人後見事業」や「生活福祉資金貸付事業（転宅費）」等の市社協各事業間及び他の関係機関との連携を通じて、主に市内民間賃貸住宅への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートしました。

[相談実績等] 相談受付数：93件、賃貸借契約締結数：9件

(4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な役割の実践

「住まい」を基点に、制度の狭間に取り残されている課題の発見・整理や狭間を埋める手段を検証するとともに、課題の解消に向けて「多分野協働のプラットフォーム」の形成を図り、福祉や住宅など複数分野に横串を刺す居住支援策を展開しました。

また、地域共生社会実現への重要なアプローチ手法である「多機関協働」「複合的課題を抱えるケースへのアウトリーチ」等を実践し、関係者との緊密な協力体制を構築することで迅速な転居支援を行ないました。



(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

建築士、弁護士、司法書士、税理士、宅建士等の専門家からなる一般社団法人古家空家調査連絡会との共同事業として、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みを運営し、「増え続ける空家・空室」を活用して、地域カフェや子ども食堂、シェア

ハウスや福祉サービス事業所など、今までに創出した事例の活動維持、新たな活用ケースの創出に努めました。

[新たな活用ケース]

名称	活用決定時期	校区	活用方法
もちもちハウス	令和6年3月	志賀島校区 (東区)	子育て中の親のつどいの場

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 個人情報の保護と活用

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

本会で作成した指針を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授による出前講座を10か所で実施しました。

区	校区	会合名等	参加者(人)
博多	東吉塚	ふれあいネットワーク研修会	25
	東住吉	ふれあいネットワーク	33
	月隈	ふれあいネットワーク研修会	46
中央	福浜	地区民児協研修会	9
	簗子	簗子社会福祉協議会	31
南	宮竹	ふれあいネットワーク学習会	32
城南	田島	校区交流会	38
早良	飯倉	早良区第5地区民児協	21
西	愛宕浜	地域福祉活動における個人情報についての勉強会	23
	内浜	校区社協研修会	29
合計			287

(2) 福祉教育の推進

① 多様性を尊重する共生社会づくりに向けた福祉教育の推進

福岡市内の社会福祉施設における、地域住民に対する啓発事業等の取組みの実施状況や、福祉教育に対する認識などを把握し、福祉的課題を抱える高齢者・障がい者等の正しい理解を進め、将来の福祉人材・ボランティア等の担い手確保につなげることを目的にアンケート調査を実施しました。

② 動画による魅せる化事業【南】

校区社協などの地域活動を動画により各種研修で紹介し、コロナ禍で対面による情報交換の機会が減少する中でも、情報共有し地域活動を発信するツールとして活用しました。

③ 校区インタビューの実施【城南】

中村学園大学の学生が地域福祉や地域活動を学ぶことを目的に、学生が校区社協会長にインタビューし、校区社協の活動について学習する機会を設けました。

実施日	内容	参加者(人)
12月18日	子育てサロンプログラム支援	校区社協会長:2
1月19日	校区社協会長講話、学生インタビュー	学生:19

④ 事業所ネットワークと連携した福祉教育カリキュラムの作成と実施【西】

事業所ネットワークと協議し、福祉事業所の知見や経験を活かした福祉教育カリキュラムを作成し、小学校の総合的な学習の時間にて実施しました。

7. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

職員の力量を高めるため、職員研修体系に基づき、CSWのスキルアップに重点を置いた「地域福祉専門職研修」を企画・実施するとともに、引き続き外部研修への積極的な参加勧奨や社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めました。

(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援

様々な生きづらさや共通の課題を持つ人のつながりや交流の機会を創出するとともに、共感のなかで悩みを打ち明け、問題解決のために経験や情報を分かち合い、相談活動や社会に理解を広める活動を行なうセルフヘルプ(自助)グループの支援に取り組みました。

① 認知症高齢者や家族を支える取組み

i) 家族介護者のつどいの実施【附属明細書：P.11（別表6）参照】

寝たきり高齢者や認知症高齢者、障がい者等を家庭で介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを16か所で実施しました。

ア 家族介護者のつどいへの助成【博多】

〔助成状況〕 助成団体数3団体 〔助成額〕 6,000円

ii) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行なうとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めました。

区	校区	内容
東	東箱崎 香住丘 照葉北 名島 三苦 奈多 和白東	東区地域保健福祉課、事業所ネットワークと協働で実施。事業所のスタッフが認知症高齢者役となり、認知症の方への声かけ体験を行なった。内容をパッケージ化することで、各校区へ展開。
中央	高宮	ネットワーク研修会にて声かけ訓練を実施したいとの希望が地域から上がり、11月11日に認知症サポーター養成講座、12月2日に声かけ訓練を校区社協主催で実施。
南	弥永	地元スーパー、事業所ネットワークとの協働により声かけ訓練を予定していたが、当日悪天候により中止。
	弥永西	町内会長、民生委員、ネットワーク見守り訪問員に対し、認知症で道が分からない等、お困りの場面での声かけ訓練を実施。
	柏原	2日間に分けて認知症サポーター養成講座と地域に出て搜索訓練を実施。

区	校区	内容
早良	田隈	校区社協主催のネットワーク研修会として開催。町内会長・民生委員など約40人と事業所ネットワークから約25人の協力を得た。当日は簡易的な認知症サポーター養成講座を行なってから、声かけ体験を実施。
	早良区南部	9月21日に、地域住民に認知症やいきいきセンターを知ってもらうため、早良区南部の福祉事業所で組織されているネットワークである「さわら南よかこネット」で、早良区南部の薬局や寺院を訪問して、認知症に関する冊子や認知症の方を見かけた時の対応に関するチラシを配布するとともに、高齢者の相談窓口であるいきいきセンターの周知を行なった。
西	壱岐	校区社協と圏域の事業所ネットワークで、行方不明者の搜索訓練や認知症サポーター養成講座を行ない、ふれあいネットワーク活動を強化した。令和5年度からはLINEグループの仕組みを見直し、連絡体制の再構築を進めており、11月に認知症サポーター養成講座と行方不明者搜索訓練を実施。

(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化

① 包括的な支援の実施に向けた体制構築モデル事業（福岡市委託事業）

市社協本部に配置する個別支援型のCSW（地域共生推進員）を3人から7人に増員し、全区において、分野ごとの制度では対応が難しい課題を、相談機関や地域資源等と連携し、アウトリーチ支援により解決するモデル事業に取り組みました。

属性別の相談窓口に当てはまらない制度の狭間の課題を抱えたケースや、地域で孤立し支援が届いていないケースを把握している民生委員からの相談を受け、伴走型の支援を行ないました。また、民生委員との同行訪問や助言等を行ない、民生委員の負担軽減を図りました。

地域共生推進員に寄せられた相談で多機関協働（支援者への支援）の必要性が高いと考えられるケースへの支援調整として、課題の整理や各相談支援機関の役割分担などのコーディネートを行ない、既存の相談支援機関との連携強化を行ないました。

また、孤独・孤立の課題を身近なものとして捉え、それぞれの立場でできることを考えるきっかけづくりを目的に、民生委員、一般市民、企業等を対象とした「孤独・孤立」をテーマにしたシンポジウムを福岡市と共催で開催しました。

[地域共生シンポジウム]

実施日	内容	参加者 (人)
1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「孤独・孤立とこれからのつながり」 講 師：勝部麗子氏（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会事務局長） ・パネルディスカッション 登壇者：速水靖夫氏（NPO法人孤独孤立防止センター理事長） 行徳收司氏（野芥校区社会福祉協議会会長） 藤村昌憲氏（社会福祉法人恵徳会特別養護老人ホーム なの国施設長） 安河内悟史氏（西部ガス・カスタマーサービス株式会社 お客さま 保安部福岡西事業所所長） 	230

② 生活困窮者の課題解決に向けた関係機関との連携、支援

生活福祉資金受付センターでの貸付等にかかる相談時に、離職者を対象とした総合支援資金を希望する人及びコロナ特例貸付を借り入れたのち償還免除になっている人等には、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用をすすめるとともに、該当する貸付の受付を行ないました。

また、コロナ特例貸付借受世帯への償還に向けた働きかけを通じ、把握した相談者世帯の住居、就労、債務等、生活困窮の要因となる課題の解決に向け、区社協、いきいきセンターふくおか等の支援窓口と連携を図り、自立に向け支援しました。

そのほか、フードバンク活動団体などとの連携により提供された食品を、生活困窮者の支援に活用しました。

〔他機関との相談連携件数〕		(件)
福岡市生活自立支援センター		283
その他の関係機関等		506
合計		789

〔提供された食品数〕		(品)
フードバンク福岡		4,232
日本非常食推進機構		272
合計		4,504

③ 地域包括支援センターの運営による個別支援機能の強化

地域において、地域包括支援センターの個別支援と社会福祉協議会の地域支援が融合するような実践を目指し、取組みを進めました。

i) 地域包括支援センター事業業務

〔総合相談・支援業務実績〕 (件)

実件数		令和5年度	令和4年度
		571	510
延べ件数		3,498	3,198
相談内容内訳	保健	474	506
	福祉	77	89
	医療	192	262
	介護	2,120	1,716
	権利擁護	334	297
	その他	301	328

ii) 介護予防支援事業業務

〔介護予防給付請求件数〕

延べ 3,475件 (月平均 290件)

④ 「生活上のよろず相談会」の実施【早良】

早良区に居住又は通勤・通学している人を対象に、相続・遺言・生前贈与、成年後見制度、年金・社会保険、離婚、債務整理、交通事故等生活上の悩みに関する相談会を早良区社協で実施しました。(相談は、弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応。)

開催日時	相談件数 (件)
毎週火曜日 16:00~17:30 (祝日、お盆、年末年始除く)	9

⑤ 区役所と連携した食料等提供支援事業の実施【博多】

博多区に関連する企業等17か所から寄せられた食料や生活用品をフードパントリーとしてストックし、博多区役所来庁者のうち、社会的・経済的に困難を抱える世帯からの相談に応じ、255件の食料等の配布支援を行ないました。

(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

積極的に地域へ出向き、地域のボランティア等を介して、制度の狭間の課題を抱える人や支援が必要な人を把握する「アウトリーチ」による相談支援を進めるCSWを配置するとともに、各区社協に適切なCSW配置数を実現できるよう、関連する委託事業や人件費を含めた民間の実証実験事業に積極的に応募するなどして、組織的にCSWの人員配置の強化に努めました。

① 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、各区1人の生活支援コーディネーターを配置するとともに、その業務・経験を通して区社協のCSWのスキルアップと機能強化を図りました。

地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの関係性を活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援するとともに、特に買い物支援や地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めました。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

- (1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化
- (2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化
- (3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進
- (4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進
- (5) 多様な主体との連携・協働の推進
- (6) 校区社会福祉協議会強化への支援

① **校区社協の運営及び事業に対する助成・支援【附属明細書：P.12（別表7）参照】**

（共同募金校区社協助成金、共同募金地区福祉事業費助成金、賛助会費交付金）
 区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援しました。

〔助成額〕 64,000,860円

② **ふれあいランチへの助成・支援**

食事の準備が困難な高齢者や障がい者などに、地域住民がボランティアで週1～2回、食事を配ることにより、安否確認、各種相談等を行なって交流を深める活動を区社協とともに支援しました。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

〔実施校区〕 東区美和台校区 〔助成額〕 260,910円

③ **校区社協広報紙の発行に対する助成**

〔実施校区数〕 133校区 〔助成額〕 5,065,218円

④ **校区社協への研修バス等交流事業への助成【東、早良、西】**

交流・親睦や地域福祉に関する理解を深めることを目的としたバスハイクのバス借上げ料や研修会の開催費用を助成しました。

〔助成校区数〕 東区：22校区（参加者数727人）

早良区：18校区（参加者数657人）

西区：1校区（30人）

⑤ **校区社協未設立校区に対する設立支援**

区	校区	内容
東	照葉北	校区保健福祉懇談会にて、公民館と自治協に向けて校区社協の説明を行なった
中央	警固	公民館と連携し、校区社協総会に向けて準備を進めた

(7) **安心情報キット、緊急時連絡カードの配付事業**

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いた用紙を筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを、一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付しました。また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配付しました。

〔安心情報キット配付者数〕 5,084人

〔緊急時連絡カード配付数〕 13,134枚

① **救急搬送時医療情報シートの普及促進【南】**

平成30年度から医師会と連携し、安心情報キットに救急搬送医療情報シートを封入する取組みへの協力を引き続き行ないました。

(8) **民生委員児童委員協議会との連携**

共に地域福祉を推進する民生委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成しました。

〔助成額〕 7, 275, 600円

(9) レクリエーション用具の貸出【東、博多、南、城南、早良、西】

地域活動等で活用できるレクリエーション用具の貸出を行ないました。

(10) 地域カフェ支援事業【南】

施設と住民が協働し、施設職員や利用者、地域高齢者・住民、ボランティア等、誰もが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら、会話や交流できる居場所（地域カフェ）を実施する団体に対して助成しました。

〔支援状況〕 13校区・22か所（延べ参加者数5, 960人）

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① その他シニア世代のボランティア活性化の取組み

i) 講座・交流会の実施

実施日	内容	受講者(人)
6月17日、6月24日、7月1日	ボランティアのための傾聴講座	50
10月28日、11月4日、 11月11日、11月18日、11月25日	傾聴スキルアップ講座	20

ii) イベントへの参加（ボランティア紹介ブースの出展）

実施日	内容
11月13日	福岡地区“70歳現役を目指す”高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会
10月21日	アラカンフェスタ

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

(5) ボランティアのコーディネート及び活動情報の収集・発信

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結びつくよう支援しました。

① ボランティアコーディネーション事業

i) 個人ボランティア活動相談・登録

㊤活動相談 (合計)	㊦対応状況	相談のみ	マッチング率(㊦÷㊤)
545	496	49	91.0%

ii) ボランティア依頼

㊤依頼合計	㊦対応	延べ対応ボランティア数(人)	マッチング率(㊦÷㊤)
1,195	896	1,986	75.0%

〔依頼内容〕

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	710	技術・学習指導	25	朗読	6
話し相手	41	遊び相手	14	託児	0
日常活動援助	24	点訳	97	その他	109
行事援助	162	家事援助	7		
合計					1,195

iii) 登録ボランティア内訳

	令和5年度新規登録者数 (人)	現登録者数 (人)
個人ボランティア	168	778
ボランティアグループ	6 団体 (164)	191 団体 (5, 332)

② 施設等ボランティア情報の周知

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を配布しました。

③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報、グループ情報などを掲載した情報紙を発行しました。

〔発行回数〕 4回 (3か月に1回発行)

〔発行部数〕 約1, 850部/回

④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループ (109団体) の情報をまとめた冊子を作成しました。

(6) 各種ボランティア講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて養成しました。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催しました。

実施日	内容	受講者 (人)
8月17日～11月16日(全13回)	音訳	16
10月7日・14日・21日・28日	視覚障がい者外出支援	11
11月18日	視覚障がい者外出支援 (フォローアップ)	27
9月9日	テキスト訳	13
9月16日	テキスト訳体験	3
11月30日	点訳 (フォローアップ)	74

② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行なうボランティアを養成しました。

実施日	講座内容	受講者 (人)
11月11日・25日	高齢者外出支援	10

③ 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

地域の支え合いや地域の課題解決に向けて、地域で活動するボランティアを養成するため、関係機関や関係団体と協力して養成講座を実施しました。

区	延べ実施回数 (回)	延べ参加者数 (人)	主な内容
東	1	31	認知症サポーター養成講座
博多	4	133	認知症サポーター養成講座、ユマニチュード講座、ボランティア研修
中央	6	143	校区ボランティア養成講座 認知症サポーター養成講座、認知症声かけ訓練
南	6	214	認知症サポーター養成講座、 ユマニチュード講座 など

区	延べ実施回数(回)	延べ参加者数(人)	主な内容
城南	1	49	個人情報に関する研修会
早良	3	37	地域ボランティア研修
西	3	100	認知症サポーター養成講座、災害ボランティア講座、地域ボランティア講座
合計	24	707	

(7) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行ないました。

① 登録ボランティアグループの状況調査

「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成しました。

② 活動拠点・資材・情報の提供

ボランティアルームなどの活動室、印刷室、オンラインツール等の貸出を行ないました。
〔件数〕 2, 021件 (延べ7, 249人利用)

③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成しました。

〔助成額〕 100,000円

④ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、59団体の芸能グループの動画を配信しました。

⑤ ボランティアグループ向け研修

ボランティアグループ向けに「ボランティアに活かせるコミュニケーション講座」として、グループの活動や定例会等で活用できるコミュニケーション・レクリエーションについて学ぶ機会を設け、ボランティアグループの活動の活性化、円滑化を目的に実施しました。

〔実施日〕 3月12日 〔参加者数〕 25人

(8) 音楽レクリエーションボランティア支援事業【南】

音楽レクリエーションボランティアグループに南区のふれあいサロン等で活動してもらうため、楽器等の貸出を行ないました。

〔貸出件数〕 3件

(9) ボランティア交流の日事業【中央、早良】

切手整理によるボランティアの交流会を実施し、企業や学生ボランティア、他区在住のボランティアの受入れも行ないました。

区	実施日
中央	毎月15日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~16:00
早良	毎月8日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~15:00

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域子どもプロジェクト(一部福岡市委託事業)

(2) 買い物支援(一部福岡市委託事業)

(3) 「終活」支援

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

(5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業(福岡市委託事業)

(6) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験

(7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

(8) **ファミリー・サポート・センター事業の推進（福岡市委託事業）**

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めました。

〔会員登録状況〕 (人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
3,961	974	455	5,390

〔活動内容及び回数〕 (回)

	活動内容	回数
1	子どもの習い事等の場合の援助	3,286
2	保育所・幼稚園の迎え	2,167
3	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,481
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	1,039
5	保育所・幼稚園の送り	1,017
6	(その他)保育所・学校等休み時の援助 保育所・幼稚園の登園前の預かり 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 等	4,926
合計		13,916

〔講習会・交流会等の実施〕

- ・依頼会員登録講習（支部：月～金曜日、本部：第3土曜日）
- ・提供・両方会員養成講習会（5回、受講者延べ360人）
- ・フォローアップ講座（2回、受講者延べ27人）
- ・支部会員交流会（7回、参加者94人）
- ・提供会員・両方会員懇談会（11回、参加者延べ156人）

(9) **子育てサロン・サークルの支援**

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施しました。

① **子育てサロン支援事業（上記保育士派遣に係る助成）【博多・早良】**

〔助成状況〕 博多区：助成団体数2団体 助成額 4,000円
早良区：助成団体数8団体 助成額 24,000円

② **子育てサロンへの助成【南】**

〔助成状況〕 助成団体数24団体〔助成額〕 240,000円

(10) **「子育てリフレッシュ事業」の実施【東・西】**

区	実施日	内容	参加者（人）
東	7月7日	子育て中の保護者を対象に、骨盤ストレッチ等の運動や交流により心身のリフレッシュを図る託児付きの講座を開催。	保護者 15 託児 17
西	10月12日	乳幼児のお子様がいる保護者を対象に、心身のリフレッシュを図るため、まだ、おしゃべりができない乳幼児とのコミュニケーションをとるための方法を学ぶベビーサイン教室を実施し、子育てに役立つ情報提供を実施。	保護者 19 子ども 20

4. **権利擁護事業の拡充**

(1) **持続可能な日常生活自立支援事業の実施**

(2) **権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進（福岡市委託事業）**

(3) **法人後見事業の推進と市民後見の充実**

(4) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

- (1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営
- (2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）
- (3) 居住支援法人事業の実施
- (4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な実践
- (5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 個人情報保護と活用
- (2) 福祉教育の推進（福祉学習教材の提供、出前福祉講座）

学校や、地域、市民、企業に対し、福祉やボランティア活動についての学習の機会を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図るため、障がい者疑似体験等を行なう出前福祉講座を実施しました。

※令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、高齢者疑似体験セットの貸出を再開しました。

	件数	主な内容	参加者(人)
本部	21	車いす体験、アイマスク体験、講話 等	456
東	7	車いす体験、アイマスク体験、手話体験、キッズ認サポ、キッズユマニチュード講座	712
博多	8	車いす体験、アイマスク体験、認知症キッズサポーター養成講座	959
中央	3	車いす・アイマスク体験	247
南	5	車いす体験、アイマスク体験、認知症キッズサポーター養成講座 高齢者疑似体験	305
城南	実施なし		
早良	6	車いす・アイマスク体験、視覚障がい者による講話、ユニバーサルデザインに関する講話	445
西	10	車いす体験、認知症キッズサポーター養成講座、地域福祉活動の講話、高齢者の特性について出前講座	605
合計	60		3,729

(3) 広報紙やホームページ等を通じた情報発信

① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布しました。

〔発行回数〕 3回（第130号・第131号・132号）※市版及び7区版を発行

〔発行部数〕 358, 770部（第130号）

354, 440部（第131号）

359, 440部（第132号）

② 社協ワーカーだよりの発行

校区社協や民生委員をはじめ、地域福祉活動に携わる人や関係機関に対し、月1回「社協ワーカーだより」を発行し、市・区社協の職員（「社協ワーカー」）の役割を啓発するとともに、本会の活動内容の情報を発信しました。

③ ホームページの運営

本会が行なう福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、最新情報の発信を行ないました。

(4) 福祉のまちづくり推進大会の開催

実施日	会場	内容	参加者(人)
11月2日	福岡市民会館	福祉活動紹介 ニュー堅粕住宅子ども会 ハーモニースクール 「多世代交流のワンコインレストラン ハーモニー ～ニュー堅粕住宅子ども会の取組み～」	1,000

(5) 市民福祉プラザの運営

① 貸室等運営【附属明細書：P.13（別表8）参照】

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行ないました。

〔施設全体の利用延べ人数〕 227, 344人

② 障がい者作品展、利用団体写真展等の実施

i) 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示しました。

〔実施日〕 令和5年12月1日～26日

〔参加数〕 5施設・団体 43作品

ii) ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催しました。

〔実施日〕 <第1回> 令和5年5月17日～5月30日

<第2回> 令和5年6月1日～6月14日

<第3回> 令和5年6月16日～7月29日

<第4回> 令和5年7月1日～7月14日

<第5回> 令和5年7月16日～7月29日

〔参加数〕 6団体 118作品

iii) デジカメ写真入門講座

高齢者の社会参加を図ることを目的に、趣味として写真を撮りたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学ぶデジカメ写真入門講座を開催しました。

〔実施回数〕 1回（2日間） 〔参加数〕 延べ19人

iv) バリアフリー映画上映会

視覚や聴覚に障がいがある人もない人も共に映画を楽しむことができる音声や字幕のついた映画の上映会を開催しました。

〔実施回数〕 1回 〔参加数〕 200人

③ プラザ相談員研修会の開催

実施日	内容	受講者(人)
8月22日	「多様な性の形を考えるLGBTQとSOGIEの基礎知識」	22

④ プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行ない、意見をふまえてプラザ運営の改善を行ないました。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議しました。

- ・プラザ入居団体連絡会（6回）
- ・当仁校区自治協議会連絡会への参加（10回）
- ・団体連絡室利用団体との懇談会（1回 参加6団体）

(6) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催しました。

実施日	内容等	参加者 (人)
3月6日	「難病がくれた宝物」～誰もが生きやすい社会を作るために私たちが できること～ 講師：株式会社PLS代表 落水 洋介 氏	98

(7) 福祉図書・情報室の運営

① 利用状況

内容	図書 (冊)	ビデオ・DVD (本)	インターネット貸出延長件数
蔵書数	30,973	807	
利用状況(貸出数)	10,237	558	1,233

[利用者数] 延べ24,468人(新規登録者数261人)

[レファレンス数(調べもの相談)] 712件

② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供しました。

[利用者数] 延べ46人

(8) 福祉バス運営事業(福岡市委託事業)

高齢者、障がい者団体等の社会参加を支援するため、福岡市から委託を受けて、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行ないました。

[利用台数]

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
323	84	69	47	523

(9) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉事業従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施しました。

研修対象	研修事業名	受講者 (人)	
民間社会福祉事業従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修 I 【社会人1年目】(2日間)	47	
	〃 II 【2～3年目】(2日間)	43	
	中堅職員研修(2日間)	26	
	リーダー研修(指導的職員)(2日間)	35	
	メンタルヘルスケア研修(一般職コース)	25	
	メンタルヘルスケア研修(管理職コース)	27	
	相談援助面接技術研修	41	
	救急法研修	第1回	32
		第2回	26
		第3回	31
		第4回	28
	福祉レクリエーション研修	第1回	34
		第2回	18
		第3回	12
第4回		20	

研修対象	研修事業名	受講者 (人)	
社会福祉関係団体職員等	接遇研修	第1回	38
		第2回	38
	人権研修	45	
合計		566	

(10) 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業【附属明細書：P.14（別表9）参照】

民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生を推進を目的に事業を実施しました。

加入契約法人数	施設数	加入職員数 (人)
131	177	5,184

(11) 保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人（潜在保育士）への再就職支援のための貸付事業を実施しました。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額 (円)
48	9,649,805	9,115,480

② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額 (円)
16	3,018,760	3,018,760

(12) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学準備金や就職準備金の貸付事業を実施しました。

貸付種類	貸付決定件数 (件)	貸付決定額(円)	貸付金送金額 (円)
入学準備金	16	8,000,000	8,000,000
就職準備金	15	3,000,000	4,000,000

(13) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入れを行ないました。

〔期間〕 8月16日～9月15日 24日間

〔人数等〕 2人（筑紫女学園大学、福岡県立大学）

(14) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付しました。

〔対象〕 5法人・5施設 〔補助金額〕 263,890円

(15) 寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、施設・団体助成事業等）

① 寄付受入・配分事業

i) 寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受入れを行ない、寄付者の意向に沿って本会事業で活用しました。

〔都度の寄付〕

区分		件数 (件)	金額 (円)
市域の事業	市域の事業	67	77,571,161
区域の事業	① 東区	3	86,570
	② 博多区	10	314,660
	③ 中央区	7	10,342,396
	④ 南区	4	240,130
	⑤ 城南区	3	495,780
	⑥ 早良区	2	166,837
	⑦ 西区	0	0
	小計	29	11,646,373
合計		96	89,217,534

〔毎月の寄付 (マンスリーサポーター)〕

区分	件数 (件)	金額 (円)
市社協事業全般	671	1,937,000

(マンスリーサポーター：65人)

〔寄付物品等〕

主な物品名	件数 (件)	金額 (円)
車いす、食料 他	3	232,798
土地・建物	1	154,889,338

ii) 福祉団体への助成

市に寄せられた寄付金(補助金)を財源に、施設・団体助成事業助成金として団体に配分を行ないました。

〔件数〕2団体 〔配分金額〕284,407円(備品購入費として配分)

② 福岡市母子福祉会芙蓉基金ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行ないました。

〔助成団体〕3団体 〔助成額〕291,045円

③ 歳末たすけあい運動募金配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、子育て支援団体等が開催する事業等に助成しました。

昨年度に引き続き、コロナ禍により、ひとり親家庭の困窮が深刻化していることを鑑み、書籍や文房具の購入の一助となるよう「お年玉企画」としてひとり親家庭に図書カードを配付する「ひとり親家庭支援事業」を実施しました。

事業区分	対象者・団体	件数 (件)
助成事業	子育て支援団体	121
	障がい児者支援団体	72
	社会的課題支援団体	11
	交通遺児支援団体	1

事業区分	対象者・団体	件数 (件)
助成事業	里親支援団体	1
	地域活動支援センター	10
社会的課題支援事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ配布)	6 (2, 136 パック)
	ひとり親家庭	500

(16) 車いす等の貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の外出、通院、社会参加等を支援するとともに、学校・団体等の福祉体験学習等の福祉教育に資するため、車いす等を貸し出しました。

7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成
- (2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援
- (3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化
- (4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置
- (5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行ない、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図りました。

① 貸付件数、資金種別相談件数【附属明細書：P.16(別表10)参照】

(6) 生活保護世帯等一時貸付金事業(福岡市委託事業)

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付けを行ないました。

区分	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	2,379	25,786,070	25,714,470
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	0
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	0
合計	2,379	25,786,070	25,714,470

8. 運営等及びその他

(1) 会務の運営(理事会・評議員会等)【附属明細書：P.17(別表11)参照】

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 評議員選任・解任委員会の実施
- ③ 監査の実施

(2) 各区運営部会の開催【附属明細書：P.19(別表12)参照】

校区社協や民生委員、福祉施設関係者との連携・協働を図り、各区の事業推進や課題等について、地域性や実情を踏まえて審議するため、各区運営部会を開催しました。

(3) 各区校区社協会長会等の開催

校区社協との連携・協働により、地域福祉の推進を図ることを目的として、市域での地域福祉部会、及び各区校区社協会長会を開催しました。また、民生委員、社会福祉施設関係者との連携・協働を図るため、民生委員児童委員部会及び施設部会を開催しました。

(4) 職員の資質向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めました。また、メンター制度を導入し、若手職員等のキャリア形成上の課題解決を援助し、個人の成長を支えるとともに、職場内での問題解決をサポートする体制づくりを行ないました。

(5) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用しました。

(6) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

寄付つき商品の仕組みを運用するなど自主財源の確保に努めました。

① 寄付つき商品の開発

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発しました。今年度は、新たに1社と協定を締結しました。

〔実績〕

企業名	寄付内容	実績
株式会社ラック 覚書締結日:H25. 6. 18	「ずーっとあんしん安らか事業応援プロジェクト」 市内在住者施行1件につき200円寄付	1,808件 361,600円
株式会社ライフエッジ 覚書締結日:H26. 3. 18	地域課題のお片付けプロジェクト 福祉関係者からの相談による家財片付け遺品整理引越し1件につき1000円寄付	85件 85,000円
翼行政書士・ 社会福祉士事務所 覚書締結日:H26. 12. 4	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円寄付	160件 32,000円
株式会社Q T n e t 覚書締結日:H28. 5. 19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円寄付 ※令和元年10月から、寄付額=本数×9.26円(税抜)×1.1	10,912本 111,168円
宗教法人 清法山 徳純院 覚書締結日:H30. 1. 1	「ずーっとあんしん納骨堂」 本会を含む福祉関係者より紹介・案内があり、納骨につながった場合1件につき1,000円寄付	10件 10,000円
株式会社 大原キャリアスタッフ九州 覚書締結日:H30. 11. 19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げの2%寄付	1件 5,676円
一般社団法人えにしへの会 覚書締結日:R1. 8. 6	「あんしん身元保証プロジェクト」 身元保証の契約1件につき2,000円寄付	102件 204,000円
合計		809,444円

※平成25年7月事業開始からの累計8,115,121円

〔新規〕

企業名	寄付内容
株式会社福豊堂 覚書締結日:R5. 11. 29	「笑顔の種プロジェクト」 「12種の豆菓子MIX」の売り上げの3%寄付

② その他の財源の確保

内訳	金額(円)
会費(正会費)	1,816,500
会費(賛助会費)	24,048,000
広報紙広告	640,000

内訳	金額 (円)
車いす等貸出料	15,000
外部講師謝礼	403,680
実習生受入謝礼	96,000
使用済み切手売却益	173,000
合計	27,192,180

(7) 収益事業の実施（市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置）

市民福祉プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用しました。

(8) その他の社協事業

① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で亡くなられた人の冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにするため、例年、地域団体とともに死没者追悼式を開催していましたが、新型コロナウイルスがいまだ終息していないことから、戦災記念碑前で式典は行わず、福岡市と共催で「福岡市戦没者追悼献花式」を実施しました。また、福岡市戦災記念碑前にて本会職員と冷泉公民館・自治協議会の有志による清掃・献花を行いました。

実施日	会場	参加者
6月19日	福岡市庁舎1階ロビー	市長、本会常務理事、遺族会連合会副会長、市議会議員、市議会議員、各区長、福祉局長 73人
6月19日	福岡市戦災記念碑前（博多区冷泉公園内）	本会職員、冷泉公民館・自治協議会関係者、博多小学校児童・関係者 54人

② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動を続け、その功績が顕著な個人、団体に対し表彰を行いました。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕 160人・32団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕 357人・37団体

③ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を中立公正な立場から、あっせん・調整を行なう苦情解決第三者委員を選任し、周知しました。

④ 友愛訪問事業

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行いました。

〔助成額〕 2,221,923円

⑤ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、助成を行いました。

〔助成団体数〕 3団体 〔助成額〕 1,830,000円

⑥ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し、福岡市の補助金を財源として活動費の助成を行いました。

〔助成箇所数〕 10か所 〔助成額〕 3,450,000円

⑦ 視察の受入【附属明細書：P.21（別表13）参照】

団体等からの依頼に応じて視察の受入れを行いました。（延べ37団体、260人）

⑧ 講演等の依頼【附属明細書：P.24（別表14）参照】

団体等からの依頼に応じて講演等を行いました。（延べ70団体、3,678人）

令和5年度 事業報告

【附属明細書】

・別表 1	子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）	1
・別表 2	地域が主体の買い物支援	4
・別表 3	終活出前講座	6
・別表 4	成年後見出前講座	8
・別表 5	福岡市市民後見人養成研修	9
・別表 6	家族介護者のつどい	11
・別表 7	校区社協の運営及び事業に対する助成・支援	12
・別表 8	市民福祉プラザ貸室等利用状況	13
・別表 9	民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	14
・別表 10	生活福祉資金貸付事業	16
・別表 11	会務の運営	17
・別表 12	部会の開催	19
・別表 13	視察の受入	21
・別表 14	講演等の依頼	24

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和6年3月31日現在のもの。

※「休止」は、新型コロナウイルスの影響によるもの。

別表1 子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）

校区・地区	名称	主な機能			
		居場所	食事提供	学習支援	
東 (23)	美和台	ななカフェ♡こども食堂	○	○	
	香椎浜	かしいはま子どもの家ぽてとほうす	○	○	
	舞松原	舞♥myキッチン	○	○	
	箱崎	ぽあんの樹	○	○	○
		寺子屋わくレオほうす	○	○	○
	香椎	えがお広場	○	○	
	香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○	
		夜の香住っ子ひろば	○	○	○
	香椎下原	しもばる広場	○	○	○
		みんな食Minna	○	○	
	筥松	はらだ2丁目食堂	○	○	○
	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
	青葉	なかよしキッチン	○	○	
	多々良	ベリーベリーグッドランド	○	○	
		はあとスペース「まちかど図書館」	○	○	
		みんな食堂・みんなの居場所	○	○	
	名島	ふくふく子ども食堂	○	○	
		名島元気もりもりハウス	○	○	○
		ほばしらみんなのふね	○	○	
	和白東	アソシエキッズわひがのWa	○	○	
	若宮	フリースペース若宮	○		
	香椎東	愛い空食堂	○	○	
	照葉	照葉っ子広場	○		○
博多 (18)	那珂	山王学舎子ども食堂	○	○	○
	東住吉	麻生塾子ども食堂すみーる	○	○	
	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	大浜	おおはま寺子屋			○
		キッズキャンパス&子ども食堂	○	○	
	弥生	やよいの森	○		
	席田	げんき堂こども食堂	○	○	
		学習支援	○		○
	堅粕	ワンコインレストラン「ハーモニー」	○	○	
		あすちる食堂	○	○	
	東吉塚	東吉塚学習支援「なないろ」			○
	奈良屋	オレズ・マガラズこどもしょくどう	○	○	
	千代	四季のいろ子ども食堂	○	○	○
冷泉	ちいき食堂ユウアヒア	○	○		

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
博多 (18)	板付	ふれあい子ども食堂	○	○	
	御供所	御供所3-17食堂	○	○	○
	吉塚	みらいあんこども食堂	○	○	○
		福岡国際子ども食堂&居場所	○	○	○
中央 (18)	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	
	箕子	子ども食堂 絆	○	○	○
	笹丘	笹丘ふれあい食堂	○	○	○
		わくわく広場	○	○	○
		たんぼぼこども食堂	○	○	○
	当仁	海と空のひろば	○	○	○
		まるけん子供食堂		○	
	南当仁	こむすびHouse	○	○	
	赤坂	つくってたべて話す会	○	○	
		子ども支援拠点いるか	○	○	○
		和食笠 子ども食堂	○	○	
	警固	夢食堂		○	
		キラキラえがおFukuoka	○	○	○
		100人カレー警固	○	○	○
	平尾	こども食堂CIRCLE	○	○	○
		ひだまり食堂	○	○	
六本松	虹色子ども食堂	○	○		
春吉	H. A. R. U		○		
南 (15)	長住	子ども勉強広場	○	○	○
	西長住	みんなのサロン	○	○	○
	西花畑	ひばるん子ども食堂	○	○	○
		花っ子みんなの食堂	○	○	○
	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	東若久	子どものための自学室	○		○
		町内自学塾	○	○	○
	弥永西	やにしスマイル	○	○	○
		地域でつくる学童保育 ツリーハウス	○	○	○
	弥永	みんなのカレー食堂弥永	○	○	
		鉄板やきやき子ども食堂	○	○	○
	鶴田	いただきます	○	○	○
	野多目	いるか食堂	○	○	○
	大池	大池子ども食堂	○	○	

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
城南 (9)	七隈	ななっこ料理道場	○	○	
	田島	ちゃちゃの会	○		
	金山	コドモテラスinかなやま	○	○	○
	堤丘	心笑食堂	○	○	○
	長尾	わくわくレストラン	○	○	
		長尾じじばばこども食堂	○	○	
	鳥飼	ふくおかこども食堂	○	○	○
	別府	別府子ども食堂		○	
朝の元気は、朝食から！			○		
早良 (13)	有田	こども食堂さい	○	○	
	飯倉	こころ食堂	○	○	○
	西新	むすびの輪	○	○	○
		bao・bab子ども食堂	○	○	○
	高取	EL Paraiso食堂	○	○	○
	室見	室見子ども食堂オルカ	○	○	○
	大原	大原すまいるキッチン	○	○	○
	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	内野	こども食堂YOKAYOKAネット	○	○	○
	野芥	つくって食べよう土曜昼！	○	○	○
		バリバリキッチン	○	○	○
	入部	みんなのおうち ゆい	○	○	○
百道	三好こども食堂	○	○		
西 (9)	壱岐東	子ども食堂「いきひがし」	○	○	
	城原	地域食堂「タベルバ」	○	○	○
	壱岐南	学viva	○	○	○
	今宿	ひまわりさんさん広場		○	
	石丸	石丸食堂		○	
	西陵	西陵校区社協子ども食堂	○	○	
		寺子屋せいりょう	○		○
	城原	こども食堂わきた	○	○	
内浜	ジョイプレイス福岡	○	○		
合計		105件	96件	96件	54件

別表2 地域が主体の買い物支援 ※試行実施含む

区	校区 地区	自治会・町内会（※）	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回数
東	青葉	みどりが丘1～3丁目自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	12
		土井団地2区自治会	買い物先への送迎	原土井病院	※休止
		青葉台自治会			※休止
		土井団地2区自治会	臨時販売	久本青果、特別養護老人ホームなごみの里・つくしの里	12
		青葉台自治会			久本青果、(株)ふくや、特別養護老人ホームなごみの里・つくしの里
		青葉市住団地	移動販売	筑前はかたや	40
	八田	若宮1-1自治会	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム光薫寺ビハーラ	12
		緑ヶ丘自治会			12
	香椎浜		買い物同行	ボランティアグループ	※休止
	香椎東		買い物先への送迎	ボランティアグループ	24
		松香団地自治会/香椎宮前団地自治会/宮の台自治会	移動販売	ばんぶーおりぢなる	48
	城浜		移動販売	筑前はかたや	64
	多々良	大橋浜田自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	12
	若宮		買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	9
	和白	和白3区自治会	買い物先への送迎	株式会社メモリード	※休止
	香住丘		買い物先への送迎	さんすまいる唐原、香椎ヶ丘リハビリテーション病院、杜の家、デイサービス東、エブリワーズ・ストーリー、たかもとホームクリニック、CoCo.com、あおぞらの里	151
	美和台		移動販売	筑前はかたや	52
	奈多	雁の巣自治会	買い物先への送迎	東福岡和仁会病院	13
	名島	名島県住公社	移動販売	筑前はかたや	18
	舞松原		移動販売	筑前はかたや	11
博多	席田	大井町内	移動販売	久本青果	47
		東平尾町内			50
	東光	東比恵	移動販売	ポパイ	50
		東比恵	移動販売	医療法人ながら医院、道の駅あさくら、ふくや、ひよこ本舗吉野堂、うさばんべカーリー	24
	月隈	金隈新町	買い物先への送迎	医療法人相生会金隈病院	24
	東月隈	下月隈団地	買い物先への送迎	アットホーム博多の森、あおやぎ	3
			臨時販売	筑前はかたや、(株)ふくや、あおやぎ、お肉の大ちゃん	24
	板付		買い物先への送迎	アットホーム諸岡	1
東吉塚	吉塚8丁目自治会	移動販売	筑前はかたや	31	

区	校区 地区	自治会・町内会 (※)	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回数
中央	小笹	小笹1丁目 小笹3丁目2区	買い物先への送迎	Reful株式会社	43
		小笹県住公社 (小笹団地)	移動販売	筑前はかたや	22
	笹丘	輝国/小笹4丁目/笹丘3丁目	買い物先への送迎	Reful株式会社	23
南	東花畑		買い物先への送迎	総合葬祭西日本典礼	12
			移動販売	筑前はかたや	53
	長丘		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	6
	西高宮		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	6
	鶴田	鶴田3区町内会	移動販売	筑前はかたや、豆吉郎	51
			買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館、総合葬祭西日本典礼、ささえあい太陽	11
	柏原		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	11
			ボランティアグループ	66	
西花畑		買い物先への送迎	デイサービス絵日記	※休止	
城南	堤	東油山6丁目	買い物先への送迎	株式会社メモリード	2
早良	入部	さわら台団地	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	22
		重留3丁目	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	12
		重留3丁目自治会	移動販売	株式会社とくし丸	52
	早良		買い物先への送迎	さわら南よかここネット	47
	脇山	椎原町内	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	49
	原	荒江2丁目付近	買い物先への送迎	(社福) 誠和会介護老人福祉施設けやき	7
西	能古		移動販売	アイランドパーク、能古の市	96
	元岡	田尻東・田尻西・桑原・泉東	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム寿生苑、軽費老人ホーム玄洋荘、特別養護老人ホーム美の里、デイサービスよかよかII	※休止
	壱岐	ウエストヒルズ自治会・ネアシティガーデン自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	24
合計		42地区			1,371回

※自治会・町内会欄が空欄のところは、校区を範囲として実施しております。

※自治会・町内会欄に複数の地域が記載されているところは、複数の自治会・町内会にまたがって実施しております。

別表3 終活出前講座

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者(人)
1	4月20日	グッドタイムホーム西の丘	グッドタイムホーム西の丘	8
2	4月22日	しろうおカフェおれんじ	多々良公民館	19
3	4月23日	城浜団地13区	城浜団地13区集会所	15
4	5月11日	ふれあいサロンピッコロ	アンピールラトゥール別府 1F集会所	18
5	5月12日	ふれあいサロンハイツの風	西油山ハイツ集会所	25
6	5月17日	東箱崎公民館	東箱崎公民館	26
7	5月20日	堤団地にここサロン	堤団地集会所	29
8	5月23日	東箱崎公民館	東箱崎公民館	15
9	5月29日	中央第1地区民生委員児童委員協議会	舞鶴公民館講堂	32
10	6月5日	原団地老人会	原団地集会所	34
11	6月13日	ふれあいサロンなでしこ	野芥1区集会所	16
12	6月21日	URコミュニティ	金山団地集会所	14
13	7月5日	いきいきライフ	香椎浜公民館	13
14	7月11日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	2
15	7月20日	シャルマンふれあいサロン	シャルマンコーポ集会所	19
16	7月27日	リバーラガーデンシニアクラブ	リバーラガーデン管理センター集会所	25
17	8月1日	神ノ木わかくさ会	水谷三丁目集会所	14
18	8月1日	老司校区社会福祉協議会	老司公民館	75
19	8月8日	博多第3地域包括支援センター	博多第4地域包括支援センター	10
20	8月21日	笹の台たのしみ会	笹の台団地集会所2F	24
21	8月22日	中央第8地区民生委員児童委員協議会	高宮公民館	21
22	8月30日	三筑公民館ちくし学級	三筑公民館	27
23	9月12日	ふれあいサロンなでしこ	野芥1区集会所	16
24	9月15日	舞鶴公民館	舞鶴公民館	7
25	9月19日	ふれあい健康カフェ	大町団地集会所	25
26	9月20日	西区オレンジフェスタ	西保健所	4
27	9月21日	早良第3地域包括支援センター	早良第3いきいきセンター	8
28	9月27日	カフェいろどり	UR千早集会所	25
29	9月27日	板付団地7区カフェ	板付団地7区集会所	20
30	9月29日	ひまわりの会	和白東3丁目集会所	14
31	10月3日	健康フェア	城南保健所	2
32	10月5日	いつまでも元気でい隊	UR箱崎 5丁目公団集会所	14
33	10月12日	羽根戸高砂会	羽根戸集会所	16
34	10月12日	ゆるゆるクラブなでしこ	壱岐南公民館	13
35	10月16日	つどい松山	松山2丁目集会所	20
36	10月20日	マーガレット東	伊都神社交流会館	20
37	10月21日	芙蓉サロン	高宮公民館	25
38	10月25日	井尻3丁目ひらばる健康クラブ	井尻3丁目南会館	18

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者（人）
39	10月31日	URコミュニティ	有住公民館	30
40	10月31日	勅使道サロン	香椎会館	19
41	11月14日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	1
42	11月16日	中央区地域保健福祉課	あいれふ7F	31
43	11月21日	南当仁公民館こうじゅ大学	南当仁公民館	27
44	12月12日	賀茂校区社会福祉協議会	賀茂公民館	32
45	12月19日	メタセコイア	城南区田島（代表者宅）	10
46	1月28日	東住吉校区社会福祉協議会	東住吉公民館	52
47	2月3日	V0ひまわり	市民福祉プラザ交流ひろば	25
48	2月3日	ふれあいサロンなかよし喫茶	那珂公民館	20
49	2月7日	ニコニコサロン	平尾2丁目3区集会所	18
50	2月9日	福岡組寺族婦人会	建立寺	25
51	2月26日	ふれあいサロン3丁目の縁がわ	下山門集会所	16
52	2月28日	金山校区社会福祉協議会	金山公民館	83
53	3月7日	サロンたんぽぽ	野芥西団地集会所	12
54	3月8日	ふれあいサロンさつき会	きよみ立体橋の下	20
55	3月12日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	2
56	3月13日	舞鶴公民館	舞鶴公民館	15
57	3月21日	シャルマンふれあいサロン	シャルマンコーポ集会所	18
58	3月23日	大池校区社会福祉協議会	大池公民館	55
合計			58件	1,239

別表4 成年後見出前講座

実施日	依頼団体	開催場所	参加者（人）
7月12日	ももち福祉プラザ	家族会勉強会	20
7月14日	ケアマネ東	ケアマネ東定例会	50
9月15日	ケアマネット博多研修会	ケアマネット博多	70
11月28日	西第1地域包括支援センター	西第9地区民生委員児童委員協議会	30
合計		4件	170

別表5 福岡市市民後見人養成研修（全37科目）

実施日	内容	受講者（人）	
		新規	市民参加型 後見人
10月 基礎研修Ⅰ （動画配信）	①開講式・オリエンテーション ②成年後見制度の概要－(1) ③成年後見制度の概要－(2) ④成年後見制度の概要－(3) ⑤成年後見制度の概要－(4) ⑥高齢者の理解（認知症） ⑦障がい者の理解（知的障がい） ⑧障がい者の理解（精神障がい）	15	14
実践研修Ⅰ 10月31日（火） （対面）	⑨コミュニケーション演習 ⑩振り返り会 ⑪家庭裁判所の役割	15	14
11月 基礎研修Ⅱ （動画配信）	⑫法人後見事業・市民後見人の役割 ⑬日常生活自立支援事業 ⑭福岡市の福祉制度－高齢者施策 ⑮福岡市の福祉制度－障がい者施策 ⑯民法の基礎 ⑰法テラスについて ⑱消費者被害について	15	13
実践研修Ⅱ 12月1日（金） （対面及びオン ライン）	⑲振り返り会 ⑳成年後見の実務－(1)開始の申立 ㉑成年後見の実務－(2)就任時の事務 ㉒成年後見の実務－(3)一般事務(財産管理①) ㉓成年後見の実務－(4)一般事務(財産管理②)	15	15
12月 基礎研修Ⅲ	㉔関係制度－(1)年金 ㉕関係制度－(2)健康保険・医療制度 ㉖関係制度－(3)生活保護 ㉗地域福祉活動と社会資源 ㉘高齢者・障がい者の住まいの確保 ㉙終活～これからの人生をより良く生きるために ㉚成年後見制度利用促進のための中核機関の役割	15	16

実施日	内容	受講者（人）	
		新規	市民参加型 後見人
実践研修Ⅲ 12月20日（水） （対面及びオン ライン）	⑳振り返り会 ㉑成年後見の実務－(5)一般事務(身上保護)	15	14
実践研修Ⅳ 1月9日（火） （対面及びオン ライン）	㉒成年後見の実務－(6)不定期・特別な事務 ㉓成年後見の実務－(7)報告・申立 ㉔成年後見の実務－(8)終了時の事務 ㉕振り返り会 ㉖閉講式	15	13
合計		105	99

別表6 家族介護者のつどい

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
東	東区小規模多機能 ネットワーク	5月25日	なみきスクエア	48 (14)
		8月26日	なみきスクエア	
		11月20日	東保健所	
		2月13日	東保健所	
	香陵	2月24日	香陵公民館	20 (2)
	西戸崎	9月21日	西戸崎公民館	23 (7)
2月15日				
博多	板付北	8月24日	板付北会館	25 (5)
	弥生	11月8日	弥生公民館	18 (10)
	那珂南	1月27日	那珂南公民館	20 (6)
中央	中央区社協	3月14日	認知症フレンドリーセン	7 (4)
南	大楠	6月15日	大楠公民館	63 (45)
		10月19日		
		2月15日		
	野多目	11月24日	野多目公民館	40 (15)
	横手	7月29日	横手公民館	37 (12)
		2月17日		
	西花畑	5月23日	西花畑公民館	28 (4)
		8月23日		
10月19日				
1月19日				
城南	七隈	10月28日	七隈公民館	25 (8)
		1月27日		
	城南区社協	10月5日	ケアタウン茶山	25 (9)
		1月17日	城南保健所	
	田島	4月22日	よりあいの森 古民家	51 (26)
		6月24日		
		8月19日		
		12月16日		
		3月16日		
早良	飯原	毎月1回 (第1水曜)	飯原公民館	10 (1)
	野芥	毎月1回 (第3金曜)	野芥公民館	24 (1)
合計				464 (169)

別表7 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

区	区分	助成校区数	金額（円）	備考
東	共同募金校区社協助成金	28	4,969,100	
	共同募金地区福祉事業費助成金	28	3,868,900	
	賛助会費交付金	28	4,983,500	前年度実績の50%を助成
博多	共同募金校区社協助成金	22	3,987,300	
	共同募金地区福祉事業費助成金	22	4,144,900	
中央	共同募金校区社協助成金	13	2,454,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	13	3,710,900	
南	共同募金校区社協助成金	25	4,434,300	
	共同募金地区福祉事業費助成金	25	4,120,900	
	賛助会費交付金	25	3,829,700	前年度実績の70%を助成
城南	共同募金校区社協助成金	11	2,048,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	11	2,725,260	
早良	共同募金校区社協助成金	24	4,164,100	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	3,705,400	
	賛助会費交付金	24	3,350,100	前年度実績の60%を助成
西	共同募金校区社協助成金	24	4,178,200	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	2,507,800	
	賛助会費交付金	21	818,500	前年度実績の50%を助成
合計		392	64,000,860	

別表8 市民福祉プラザ貸室等利用状況

区分		利用状況	
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	243 日
		利用者数	31,647 人
	会議室 (3室)	利用日数	998 日
		利用者数	32,955 人
	研修室 (7室)	利用日数	2,195 日
		利用者数	83,875 人
	和室・実習室 (7室)	利用日数	1,439 日
		利用者数	27,736 人
	交流ひろば	利用日数	261 日
		利用者数	8,869 人
計	利用日数	5,136 日	
	利用者数小計	185,082 人	
その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	9,927 人
	施設見学	団体数	35 団体
		利用者数	618 人
	ボランティアルーム等	利用件数	2,021 件
		利用者数	7,249 人
	福祉図書・情報室	開室日数	341 日
		利用者数	24,468 人
		新規登録者数	261 人
		貸出冊・本数	10,795 冊
		対面朗読	46 件
計	利用者数小計	42,262 人	
利用者総数			227,344 人
開館日数			347 日
1日平均利用者数 (利用者総数/開館日数)			655 人

別表 9 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

(1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	126	3,780,000
出産祝金	30,000	155	4,650,000
入学祝金	30,000	262	7,860,000
義務教育修了祝金	30,000	98	2,940,000
死亡見舞金		82	2,176,000
内訳	本人	100,000	0
	被扶養者	70,000	1
	その他	26,000	81
傷病見舞金		26	740,000
内訳	15日以上	20,000	15
	31日以上	40,000	11
災害見舞金		0	
内訳	全焼(壊)	100,000	0
	半焼(壊)	70,000	0
	その他	30,000	0
小計		749	22,146,000
退会一時金	支給率で算出	760	72,372,618
合計		1,509	94,518,618

(2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		7	1,070,000
内訳	5年未満	120,000	4
	5年以上	150,000	0
	10年以上	200,000	3
慶弔資金	250,000	0	0
医療資金	250,000	0	0
入学資金		2	890,000
内訳	高校	250,000	0
	大学	500,000	2
罹災資金	500,000	0	0
合計		9	1,960,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	300	1,500,000
10年	10,000	130	1,300,000
15年	10,000	98	980,000
20年	15,000	63	945,000
25年	15,000	28	420,000
30年	20,000	32	640,000
35年	20,000	10	200,000
送料・挨拶状印刷費			148,150
合計		661	6,133,150

(4) 文化体育事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限3,000円	5,528	12,365,400
映画鑑賞補助	費用の一部	11,156	3,773,100
観劇補助	費用の約1/2	159	596,400
プロ野球観戦補助	費用の約1/2	368	287,000
Jリーグ観戦補助	費用の約1/2	15	15,000
海浜プール利用補助	費用の一部	374	106,400
スポーツ施設利用補助	費用の一部	49	24,500
その他補助	費用の一部	1,674	1,879,758
合計		19,323	19,047,558

※文化鑑賞引換券補助…12,365,400円のうち420,000円は、福岡市補助金収入を充当。

別表 10 生活福祉資金貸付事業

(1) 貸付件数

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
福祉資金（福祉費）	62	8,981,000
福祉資金（緊急小口資金）	39	3,799,000
教育支援資金	366	136,928,000
総合支援資金	3	1,560,000
不動産担保型生活資金	5	70,410,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	475	221,678,000

(2) 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金（福祉費）	823
緊急小口資金	1,011
教育支援資金	1,451
総合支援資金（通常枠）	265
不動産担保型生活資金	81
臨時特例つなぎ資金	9
その他（貸付対象に非該当など）	1,052
合計	4,692

別表 1 1 会務の運営

(1) 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者等(人)
<第1回> 4月1日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常務理事の選定 	理事17 監事3
<第2回> 5月17日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副会長の選定 ・ 役員候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集 	理事15 監事3
<第3回> 6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告 ・ 令和4年度収支決算 ・ 令和5年度第1次資金収支補正予算案 ・ 職員就業規則の一部改正案 ・ 区担当理事の選出 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任 ・ 次期役員候補者の選任 ・ 令和5年度第2回評議員会(定時評議員会)の招集 ・ 遺贈財産(不動産)の受け入れ 	理事12 監事3
<第4回> 6月23日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、副会長、常務理事、区担当理事の選定 	理事15 監事3
<第5回> 8月25日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集 	理事15 監事3
<第6回> 3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度事業計画案 ・ 令和6年度資金収支予算案 ・ 定款施行細則の一部改正案 ・ 職員就業規則の一部改正案 ・ 職員の給与に関する規則の一部改正案 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 区担当理事の選出 ・ 令和5年度第4回評議員会(臨時評議員会)の招集 	理事13 監事3

(2) 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 臨時評議員会 5月29日 (決議の省略)	・ 役員の選任	22
〈第2回〉 定時評議員会 6月23日	・ 令和4年度事業報告 ・ 令和4年度収支決算 ・ 令和5年度第1次資金収支補正予算案 ・ 次期役員の選任	18 (理事2)
〈第3回〉 臨時評議員会 9月28日 (決議の省略)	・ 役員の選任	23
〈第4回〉 臨時評議員会 3月27日	・ 令和6年度事業計画案 ・ 令和6年度資金収支予算案	16 (理事2)

(3) 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 6月8日	評議員の選任	4
〈第2回〉 9月29日	評議員の選任	4
〈第3回〉 3月11日	評議員の選任	4

(4) 監査の実施

実施日	監査事項等	監事(人)
5月19日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

別表12 部会の開催

(1) 地域福祉部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
<第1回> 11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・副部会長の選任について ・施設・団体助成事業運営委員会委員の推薦について ・避難行動要支援者の個別避難計画作成について ・基金事業の実施細目等の変更について ・食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業（シェアダイニング事業）について ・地域共生社会の実現に向けた取り組みについて 	13
<第2回> 2月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人SOS子どもの村JAPANのヤングケアラー相談窓口について ・地域保健福祉振興基金助成事業の実施細目・様式の改正について ・食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業について ・買い物等の生活支援推進事業について ・弁当や食材等を配布する事業（配食・餅配りなど）について ・各種助成事業等について ・高齢者見守り活動時における熱中症予防啓発チラシについて 	10

(2) 民生委員児童委員部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と連携した支援の進捗について 	7

(3) 施設部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設部会長および副部会長の選任について ・福祉施設との協働による福祉教育の推進について ・食を通じた多世代交流の居場所づくり事業について ・ICTを活用した見守り・交流による「孤独・孤立」対策 ・第64回大都市社会福祉施設協議会（広島市大会）の報告 ・福岡県災害派遣福祉チーム（DWAT）について 	13

(4) 各区運営部会

区	開催日	内容（議題）	参加者 （人）
東	5月17日	・副部会長の選任について ・令和4年度事業報告・決算について	16
	2月5日	・令和6年度事業計画・予算について	17
博多	5月16日	・令和4年度事業報告・決算について	19
	7月26日	・部会長選任について（書面開催）	22
	2月13日	・令和6年度事業計画・予算について	20
中央	5月18日	・令和4年度事業報告・決算について	10
	2月9日	・令和6年度事業計画・予算について	9
南	5月17日	・副部会長の選任について ・令和4年度事業報告・決算について	15
	7月20日	・部会長の選任について（書面開催）	21
	2月9日	・令和6年度事業計画・予算について	17
城南	5月17日	・令和4年度事業報告・決算について	12
	2月14日	・令和6年度事業計画・予算について	14
早良	5月17日	・令和4年度事業報告・決算について	15
	2月14日	・令和6年度事業計画・予算について	14
西	5月18日	・令和4年度事業報告・決算について	17
	2月8日	・令和6年度事業計画・予算について	10

別表13 視察の受入

(1) 社協

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
1	5月12日	大野城市社会福祉協議会 大野城市役所	終活事業について	5
2	7月21日	廿日市社会福祉協議会 廿日市役所	終活サポートセンターの運営状況と居住支援について	9
3	8月31日	三瀬校区社会福祉協議会	地域の見守りや安否確認活動等の地域づくり推進について	24
4	9月15日	長門市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	6
5	10月5日	ふじみ野市社会福祉協議会 ふじみ野市役所	終活サポートセンター事業について	5
6	10月26日	加古川市社会福祉協議会 (成年後見支援センター) 加古川市役所	終活サポートセンター事業、法人後見事業について	3
7	11月7日	嘉麻市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	3
8	11月28日	安来市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業、居住支援法人事業について	4
9	12月11日	大牟田市社会福祉協議会	地域資源と連動した移動・買い物支援の取組みについて	16
10	12月22日	臼杵市社会福祉協議会 (臼杵市市民後見センター)	死後事務、やすらかパック事業について	2
11	1月17日	佐賀市校区(地区)社会福祉協議会 会長会	地域での見守り活動について	36
12	1月17日	魚沼市社会福祉協議会 魚沼市役所	終活サポートセンター事業について	7
13	1月23日	宇和島市社会福祉協議会	法人後見事業、終活サポートセンター事業について	7
14	1月26日	江東区社会福祉協議会	ファンレイジング事業について	3
15	1月26日	福山市社会福祉協議会	住まいサポートふくおか事業、居住支援法人事業、終活サポートセンター事業、ファンレイジング事業について	3
16	1月29日	宜野湾市社会福祉協議会 宜野湾市民生委員児童委員連絡協議会	鶴田地区における地域福祉活動(見守り・移動販売等)について	7
17	2月7日	大牟田市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	2
小計				142

(2) 団体

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
18	6月12日	北海道友愛福祉会 居住支援法人	社会貢献型空家バンク事業、終活サポートセンター事業、住まいサポートふくおか事業について	2
19	9月7日	佐賀県社会福祉士会	市民後見人の取り組みについて	2
20	12月4日	熊本市居住支援協議会	終活サポートセンター事業、居住支援法人事業について	4
21	1月19日	知多地域権利擁護支援センター	終活サポートセンター事業、見守りアプリ、ふれあいネットワーク、サロン、地域カフェについて	5
小計				13

(3) 行政・議会関係

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
22	8月22日	横浜市会 減災対策推進特別委員会	災害弱者への避難・防災対策について	5
23	10月17日	宮崎県議会	社会貢献型空家バンク事業、終活サポートセンター事業、買い物困難の支援について	11
24	10月24日	石川県加賀市議会 会派 昂志会	終活サポートセンター事業について	7
25	11月2日	横浜市会 健康福祉・医療委員会	終活サポートセンター事業について	14
26	11月9日	武豊町議会 建設経済委員会	社会貢献型空家バンク事業について	7
27	1月29日	大分県議・宇佐市議	終活サポートセンター事業、法人後見事業について	2
小計				46

(4) 大学、研究機関

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
28	5月19日	九州大学大学院 人間環境学研究院	終活支援の事業について	5
29	6月6日	コミュニティシンクタンク北九州	終活サポートセンター事業について	3
30	2月6日	早稲田大学 教授 菊池 馨実	終活サポートセンター事業について	1
31	2月21日	沖縄大学 人文学部福祉文化学科 玉木ゼミ	終活サポートセンター事業について	12
32	3月29日	関西学院大学 名誉教授 牧里 毎治	ファンドレイジング事業、福岡市社会福祉協議会の取組みについて	1
小計				22

(5) 企業

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
33	11月8日	コスモスケア株式会社	終活サポートセンター事業について	6
34	2月15日	有限会社 縁	終活サポートセンター事業について	2
小計				8

(6) 政府関係

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
35	10月2日	厚生労働省 社会・援護局	福岡市社会福祉協議会の取組み、終活サポートセンター事業、見守り交流アプリ「スグニー」、住まいサポートふくおか事業について	5
小計				5

(7) その他

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
36	4月17日	韓国釜山北区役所 公務員福祉施設視察団	日本の終活サポートの現状と課題について	2
37	5月19日	康津郡社会福祉課	生活困窮者の住宅における支援について	22
小計				24

合計				260
----	--	--	--	-----

別表 1 4 講演等の依頼

(1) 地域（福岡市内）

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
1	5月26日	馬出校区人権尊重推進協議会	認知症や介護について	45
2	6月1日	東区民生委員児童委員協議会	新任研修 社会福祉協議会の活動について	11
3	6月14日	城南区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	地域福祉活動について	80
4	6月16日	東区第3地区民生委員児童委員協議会	傾聴講座	28
5	7月5日	早良区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	各社協における福祉活動と 民生委員・児童委員の関わり方について	58
6	7月13日	南区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	社会福祉協議会と民生委員との 関わりについて	107
7	8月4日	博多区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	地域共生社会の実現に向けた取組みにつ いて	58
8	8月21日	中央区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	ユマニチュード地域講座	66
9	8月26日	飯倉校区高齢者地域支援を 考える会	「地域」や「地域福祉」について ～周船寺校区の事例紹介～	62
10	8月30日	東区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	どうする民生委員～困った時の初めの一 歩を考えよう～	90
11	8月31日	東区民生委員児童委員協議会 自立支援部会	周囲とのかかわりを拒否している人への 対応について	90
12	11月30日	ココロカラダ元気会	ユマニチュード地域講座地域講座	10
13	12月1日	東区民生委員児童委員協議会	新任研修 社協の活動について	5
14	12月21日	城浜公民館	ユマニチュード地域講座地域講座	39
15	2月3日	香陵校区人権尊重推進協議会	認知症や介護について	21
16	2月18日	フォーラム「新しい絆」	親子を支える里親のかたちを考える	191
17	3月2日	東区地域保健福祉課	東区よかよか講座（東箱崎校区）	32
18	3月13日	東区地域保健福祉課	東区よかよか講座（東箱崎校区）	12
19	3月16日	福岡市身体障がい者相談員・福岡市民 生委員児童委員協議会障がい者部会	高齢障がい者の孤独死を防ぐために、身 体障がい者相談員と民生委員ができるこ と	80
小計				1,085

(2) 社協

	日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数 (人)
20	7月6日	糸島市社会福祉協議会	糸島市中核機関準備委員会	10
21	9月4日	岐阜県社会福祉協議会	市町村社協研修会 居住支援・死後事務委任などの事業開発	35
22	11月20日	稲沢市社会福祉協議会	法人研修会 居住支援等事業開発の取り組み	22
23	1月12日	広島県社会福祉協議会	令和5年度 第2回法人後見事業推進会議 「死後事務委任事業を通じた意思決定支援」	34
小計				101

(3) 団体

	日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数 (人)
24	7月27日	福岡市介護実習普及センター	認知症介護講座	40
25	8月30日	福岡県老人福祉施設協議会	地域における公益的な取組の実践と展開 について	50
26	9月15日	福岡市介護実習普及センター	介護講座 人生100年時代の老い支度 備えて安心！ひとり暮らしの終活のすすめ 「おひとり様向け終活講座」	60
27	11月28日	西区シルバー人材センター	子育てボランティア講座	10
28	1月15日	福岡市手話の会	ユマニチュード地域講座地域講座	25
29	1月31日	福岡市介護実習普及センター	一緒に歩むための認知症介護	16
30	2月21日	博多区博多南こどもプラザ	子育てサポーター養成講座・ ボランティアについて	9
31	2月27日	福岡市介護実習普及センター	介護講座 人生100年時代の老い支度 備えて安心！ひとり暮らしの終活のすすめ 「おひとり様向け終活講座」	41
小計				251

(4) 行政関係

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
32	6月19日	福岡市福祉局地域包括ケア推進課	権利擁護等担当者会議	12
33	7月13日	福岡市福祉局福岡100推進課	福岡 100 ラボ meet up! ～人生100年時代を企業の力でアップ デート!～ 社協×企業の連携の現場から	27
34	7月19日	福岡市福祉局地域包括ケア推進課	いきいきセンター管理者研修	80
35	7月19日	南区地域保健福祉課	南区いきいきセンター連絡会	15
36	7月21日	西区地域保健福祉課	西区いきいきセンター社会福祉士勉強会	12
37	8月22日	城南区地域保健福祉課	城南区権利擁護部会	20
38	10月19日	城南区地域保健福祉課	城南区地域包括支援センター社会福祉士 連絡会	7

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
39	10月24日	福岡家庭裁判所	成年後見制度説明会	30
40	11月9日	福岡市福祉局地域包括ケア推進課	市高齢者権利擁護研修	113
41	11月29日	城南区健康課精神保健福祉係 共感部会	日常生活自立支援事業と成年後見制度	20
42	1月24日	城南区健康課精神保健福祉係	こころの病家族講座 社会福祉協議会について	8
43	1月25日	城南区福祉介護保険課	社会福祉協議会について	8
44	1月26日	城南区福祉介護保険課	社会福祉協議会について	16
45	2月15日	博多区地域保健福祉課	博多区いきいきセンター社会福祉士連絡 会	10
46	3月27日	福岡市福祉局福岡100推進課	福岡100ラボmeet up! 「最期まで自分ら しい生き方を選択できる社会」へアップ デート! 「福祉×金融」による事業開発	25
小計				403

(5) 学校関係、学会等

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
47	4月20日	純真学園大学	ボランティア活動について	300
48	6月1日	福岡大学医学部看護学科	地域福祉活動の理念と実際	110
49	7月9日	日本看護福祉学会	第36回日本看護福祉学会学術大会市民公開 講座 「地域福祉活動の推進と事業開発の取組み」	80
50	7月9日	日本看護福祉学会	第36回日本看護福祉学会学術大会市民公開 講座 「地域共生社会の実現を目指して」	115
51	9月11日	麻生医療福祉専門学校	認知症について、地域と事業所の 連携	30
52	10月30日	中村学園大学	移動販売をよりよくするためには ～買い物理解を通して～	30
53	11月8日	西南学院大学	有住校区の概況及び校区の 地域課題と現状について	85
54	11月20日	中村学園大学	移動販売をより良くするための 学生それぞれの課題解決案の発表	30
55	12月9日	福岡県立大学	社会福祉学会第15回大会 ソーシャルワークの実践と価値 ～福岡市社協のCSWの実践から～	180
56	2月13日	第一薬科大学 看護学部	社会福祉協議会と地域福祉活動 ～地域共生社会の実現を目指して～	55
57	3月19日	慶応義塾大学	第1回SIP包摂的コミュニティプラット フォームシンポジウム 「福祉×金融」による事業開発	400
小計				1,415

(6) 職能団体

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
58	5月27日	福岡県社会福祉士会	ぽあとなあ福岡総会	70
59	6月15日	福岡ソーシャルワークラボ	地域福祉の取組みとCSWの役割・連携	7
60	7月7日	福岡県司法書士会	リーガルサポート勉強会	86
61	8月6日	社労士成年後見センター福岡	社労士成年後見人養成講座	15
62	11月6日	東区相談支援部会	インフォーマルサービスも含めた 社会資源を活用した支援	42
63	11月7日	福岡市医師会 在宅医療に関する市民啓発事業	市民向け終活講座	40
64	11月18日	社労士成年後見センター福岡	社労士成年後見人継続研修	10
65	3月9日	福岡市医師会	第4回博多区地域包括ケアシステム フォーラム (市民向け終活講座)	59
小計				329

(7) 政府関係

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
66	10月13日	厚生労働省・高齢者住まい・生活支援 伴走支援事業	長門市意見交換会 居住支援活動と死後事務委任	25
67	11月13日	内閣官房・総理官邸 「幸齢社会」実現会議	身寄り問題に資する事業報告	16
68	12月25日	厚生労働省・高齢者住まい・生活支援 伴走支援事業 (株)レキオス	居住支援活動と死後事務委任	20
小計				61

(8) その他

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
69	5月18日	韓国リビングラボネットワーク・日韓 リビングラボ交流セミナー	終活支援と見守り 交流アプリ「スグニー」	18
70	3月18日	ユウベル株式会社 ユウベル積善社家族親族葬ホール福岡 南	市民向け終活講座	15
小計				33

合計				3,678
----	--	--	--	-------